

オリエンタルモーターレポート 2026

Think Motion

あらゆる動きを常に考え、発想し、解決していく

さまざまな「動き」を実現するモーター。

私たちオリエントタルモーターは産業、医療、食品、交通、物流など、変化する社会ニーズをいち早く捉え、地球環境の改善、社会や産業の発展に関わり続けています。

このレポートは、「動き」を通してより良い未来を発想し、解決していくオリエントタルモーターグループのさまざまな取り組みを紹介しています。

オリエントタルモーターが目指す姿

VISION

お客様と
パートナーに

MISSION

モノづくり・販売サポート・製品開発・ヒト

VALUES

お客様と共に生み出したモノ・コトを通じて、誰もが安心して笑顔で持続的に暮らせる社会を創造すること。

今日よりも明日をより良くしたいと願っているエンジニアに対し、はじめの一步をモーション（ハード、ソフト、ヒト）で応援すること。モーションを通して想像以上の体験と驚きを届け、「Wow!」という価値を生み出すこと。

私たちオリエントタルモーターは、全社で行動指針（Values）を共有し、ミッション・ビジョンの実現につなげていきます。

Contents

Introduction

オリエントタルモーターが目指す姿	02
トップメッセージ	04
MOTION MIRAI PARK	06
社会課題の解決に向けた価値創造プロセス	08

「動き」を発想するEnvision Motion

2025年度のピックアップ製品・技術	12
製品の安全性・信頼性	16

「動き」を実現するRealize Motion

安定供給と品質保持のための取り組み	20
取引先様との取り組み	23

「動き」で変えていくChange with Motion

展示会での情報発信	26
サービスサポートの拡充	27

「動く」シーンを環境に優しく

2025年度の環境活動実績・パフォーマンス	31
2025年度の環境活動	33

人とともにWith People

社員とともに	37
地域社会とともに	42

コーポレートデータ

非財務ハイライト	44
財務ハイライト	46
会社概要	47

報告対象期間

2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日



事業環境の変化を捉え、 自らを変革する。 その先に、新たな価値を創る。

2025年度を振り返って

2025年度は、オリエンタルモーターにとって大きな転換点となる一年でした。AI半導体製造装置を中心とした積極的な投資拡大を背景に、受注は2025年末から急速に回復し、売上は過去最高水準に達しました。海外では中国や台湾を中心に堅調に推移し、国内においても回復基調が続いています。

こうした成果は市場環境の追い風によるものだけではありません。ここ数年にわたり取り組んできた新規事業の立ち上げや、変化に対応するための組織・体制の見直しが、着実に機能し始めた結果であると受け止めています。

変革の先に見え始めた手応え

従来のモーター事業に加え、ロボット、センサ、装置といった新たな事業への展開を進めてきました。これらは急激に拡大するものではありませんが、ロボット分野では海外市場でも評価が広がるなど、着実な進展がみられています。

こうした事業の広がりとは並行して、2025年度からは、組織や仕事の進め方そのものを抜本的に変えてきました。変化の速い事業環境の中で、お客様のニーズに迅速かつ柔軟に 대응していくためには、従来の個別最適の延長では限界があると考えたためです。生産拠点や部門を横断した連携を強化し、モノづくりや開発の進め方を見直すとともに、サンプル提供や特注対応の初動スピードを高める取り組みを進めてきました。その結果、特注品として始まった取り組みが標準化され、新たな製品へとつながる動きも生まれています。

また、データ活用やDXの推進を通じて、商品開発や提案のスピードを高める基盤づくりにも着手しています。さらに、サービスの一部有償化にも取り組み、ソフトウェア支援など付加価値の高い領域のあり方の見直しも進めています。

こうした変化は、お客様との接点にも表れています。2025年12月に開催した自社主催の展示会「MOTION MIRAI PARK」

では、従来のモーター単体の展示ではなく、動きや装置としてのソリューション提案を前面に打ち出しました。社外からも、当社の変化を実感したという声が多く寄せられています。

培った技術を土台に、問いかけ続ける姿勢を

オリエンタルモーターは今、モーターメーカーからモーションシステムメーカーへと進化する過程にあります。単に製品を供給するだけでなく、お客様の課題に対し、ハード、ソフト、ヒトから価値を提供していくことが求められています。近年では、お客様ご自身が個々の部品を選定して装置を設計するケースは減少し、より完成度の高いユニットやシステムとして活用できる製品へのニーズが高まっています。こうした変化を踏まえ、新たな製品領域の拡充と提案力の強化に取り組んでいきます。

事業環境は今後も刻々と移り変わっていきます。その中で重要なのは、自らのあり方を問い直し続ける姿勢であると考えています。長い歴史の中で培ってきた技術を土台としながらも、それに安住することなく、組織やサービスのあり方を含めて進化を重ねていく必要があります。環境の変化を捉え、自らを変えていく企業こそが、持続できると考えています。

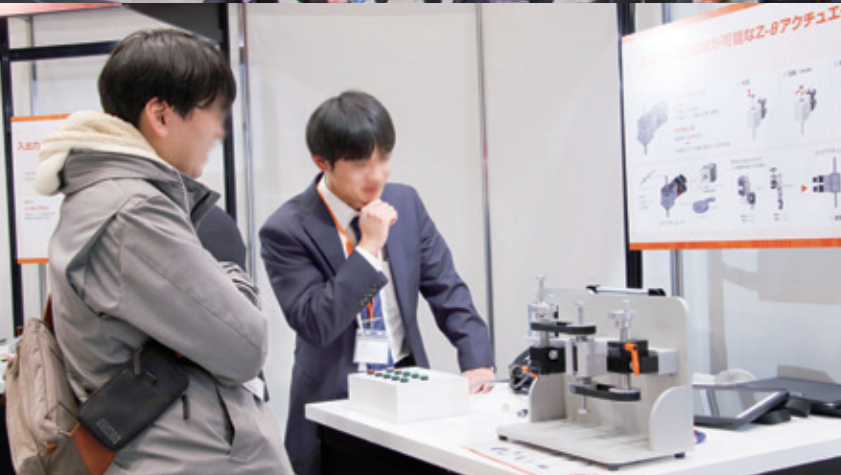
私たちもまた、これまでにない挑戦を積み重ねながら、次の成長に向けて歩みを進めていきます。そのためには、社員一人ひとりが主体的に考え、新しい領域や仕事の進め方に積極的に踏み出していくことが欠かせません。今後も、お客様や社会のニーズに真摯に向き合いながら、新たな価値の創出に取り組んでまいります。

代表取締役執行役員社長

川人英二

“新たな発想が、ここで起動する。” 課題解決に導くイベント

MOTION MIRAI PARK 開催



FA自動化ライン



2025年12月、東京国際フォーラム(東京・有楽町)にてプライベート展示会「MOTION MIRAI PARK」を開催しました。本イベントは、オリエンタルモーターが目指す“モーターメーカーからモーションシステムメーカーへ”という進化を、具体的な体験として示すことを目的に企画したものです。開催にあたり、協業各社、大学・高校・団体にも参画いただきました。

用途・課題起点の展示構成に加え、協業パートナーとの連携展示、実際の生産ラインを持ち込んだデモンストレーションなどを通じ、製品単体ではなく「動き」全体で価値を届ける姿を表現しました。

イベント概要

会期：2025年 12/11(木)～12/12(金)

会場：東京国際フォーラム E1 ホール

進化を体感できる展示会としての挑戦

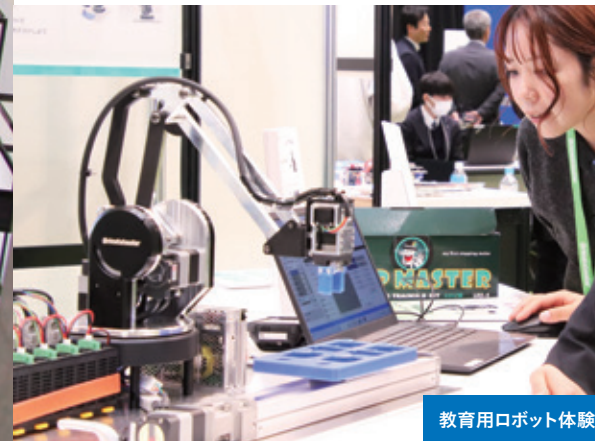
2日間で3,509名が来場し、新たな接点創出、国内外での案件化など、事業面でも具体的な成果を得ました。また、新製品や開発テーマに対する直接的なフィードバックは、今後の製品・事業展開に向けた重要な示唆となっています。

来場者からは、「モーター単体ではなく、システムとして理解できた」「協業との展示もあり、課題解決の選択肢が広がった」といった声が寄せられました。

「MOTION MIRAI PARK」は、社外への提案力強化に加え、社員一人ひとりが“挑戦するオリエンタルモーター”を体感する場ともなりました。



マイクロマウス走行



教育用ロボット体験



新製品KXRシリーズ



「つくばチャレンジ」参加ロボット走行



協業コーナー



アート展示



基調講演

展示体験をWEBへ - オンライン展示会 -

本展示会での体験価値をより多くの方に届けるため、会場の展示内容を「オンライン展示会」として再現したWEBコンテンツをリリース。会場に来場できなかったお客様への情報提供に加え、営業活動や継続的な提案の場としても活用しています。

「MOTION MIRAI PARK」は、リアルとデジタルを融合させた取り組みとして、社外への提案力強化と、次の価値創造につながる基盤を築く機会となりました。

オンライン展示会は
こちら





サービスロボット

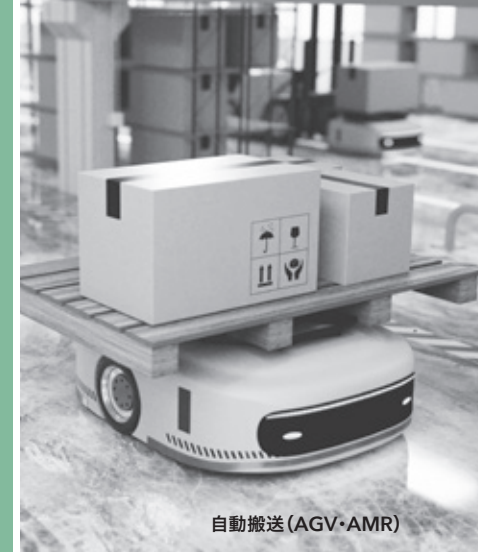


外食産業



「動き」を実現する

REALIZE
MOTION



自動搬送 (AGV・AMR)



CT装置



社会課題の 価値創造 解決に向けた プロセス

オリエンタルモーターは、変化する
「動き」を通してより良い未来を発想

社会のニーズをいち早く捉え、
し、社会課題の解決に貢献します。



自動改札機



CHANGE
WITH
MOTION

「動き」で変えていく

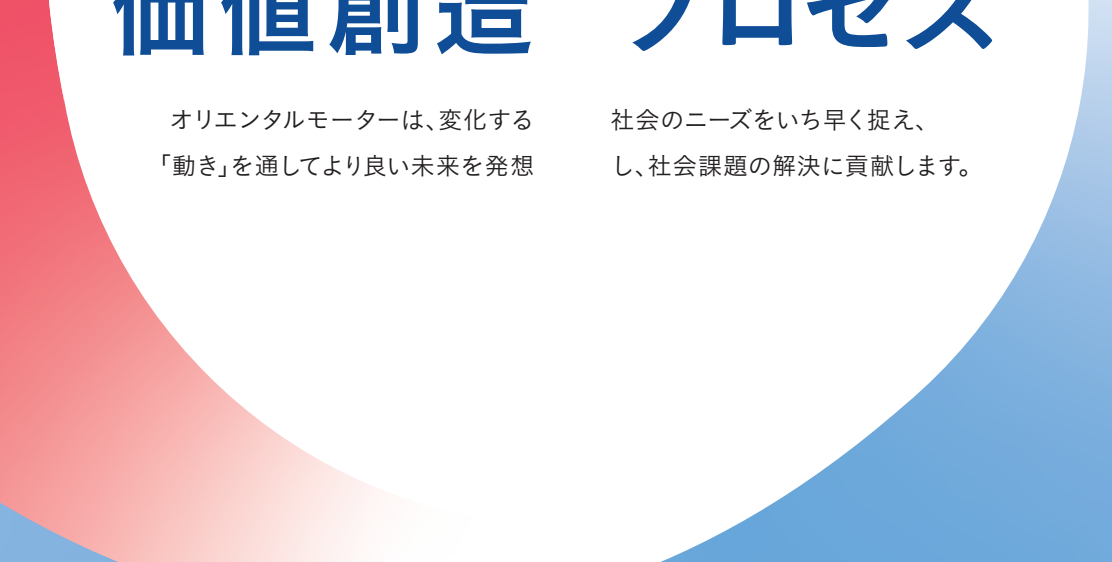


ENVISION
MOTION

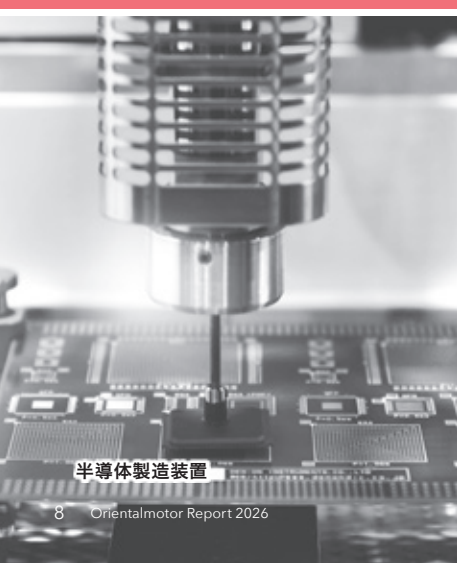
「動き」を発想する



ETCゲート



食品機械



半導体製造装置



農業用ロボット



セキュリティゲート



風力発電・太陽光発電



「動き」を発想する

ENVISION MOTION

設計・開発

オリエンタルモーターは、幅広いニーズを的確にとらえ、
お客様が求めるさまざまなモーションを実現する製品を研究・開発しています。
進化し続ける技術開発と豊富な製品バリエーションで、これからも幅広い分野への貢献を目指していきます。

高出力

高効率

高精度

小型化

安全性

信頼性

長寿命

デザイン

低振動
低騒音
低発熱

操作性

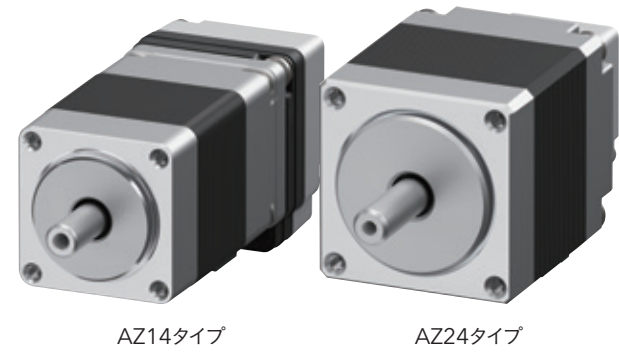
標準化

環境

2025年度のピックアップ製品

αSTEP AZシリーズ 標準タイプ シャフト中空

- ・シャフトに中空加工を施したモーターを追加
- ・エア配管をシャフトに直結可能
- ・部品吸着、回転機構の設計時間を短縮

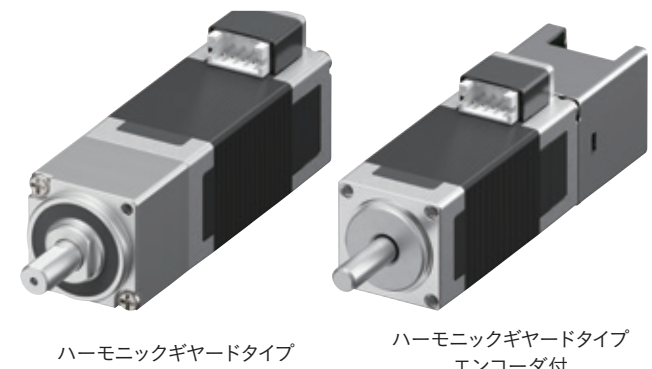


AZ14タイプ

AZ24タイプ

2相ステッピングモーターPKPシリーズ取付角13mm ハーモニックギヤードタイプ/エンコーダ付

- ・装置の小型化に貢献する、取付角寸法わずか13mm
- ・エンコーダ付きタイプは、限られたスペースで位置検出が可能
- ・ハーモニックギヤードタイプは、高トルクを実現

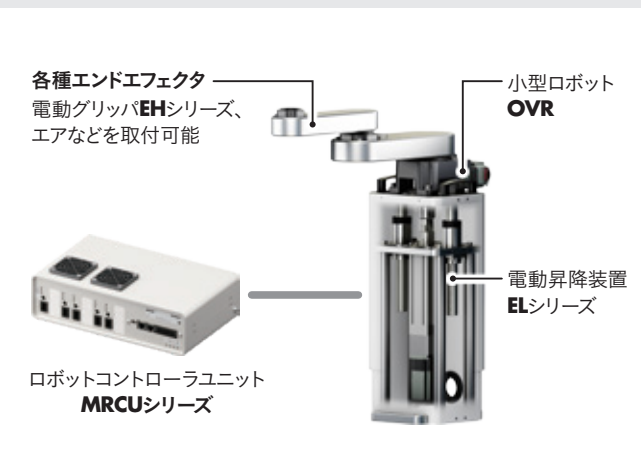


ハーモニックギヤードタイプ

ハーモニックギヤードタイプ
エンコーダ付

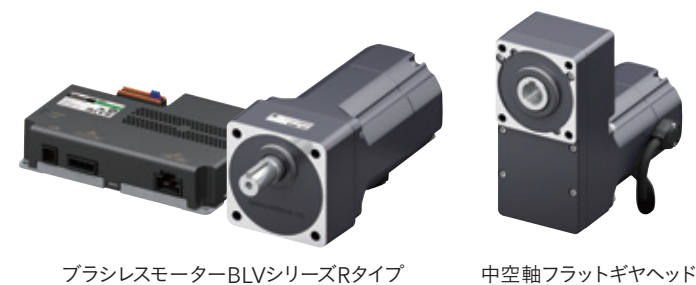
小型ロボットOVR

用途に合わせて選べるラインアップ追加



ブラシレスモーターBLVシリーズRタイプ 750W ラインアップ追加

- ・バッテリー駆動に対応したAGV・AMRに最適なモーター
- ・750Wモーターなら、1～3tクラスの重量物も搬送可能
- ・幅広い速度制御範囲、高い速度制御範囲

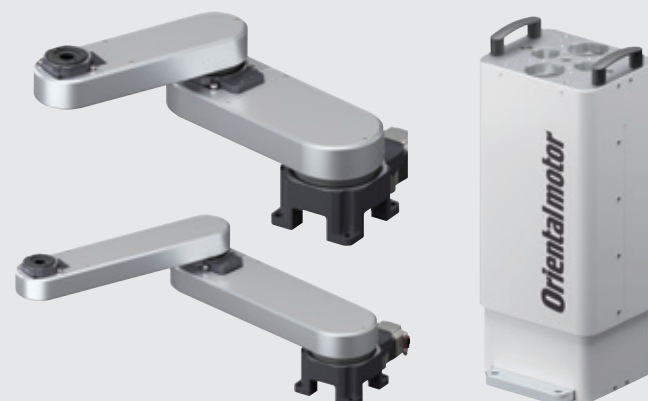


ブラシレスモーターBLVシリーズRタイプ

中空軸フラットギヤヘッド

薄型の水平多関節ロボット

- ・全方位動作可能なスカラロボット
- ・搬送質量重視(10kg)と、搬送範囲重視(リーチ700mm)の2タイプをラインアップ



電動昇降装置ELシリーズ

- ・OVRと簡単組み合わせ
- ・上下方向の動作範囲を拡大

2025年度のピックアップ技術

ピックアップ技術1

αSTEP AZシリーズ 標準タイプ シャフト中空

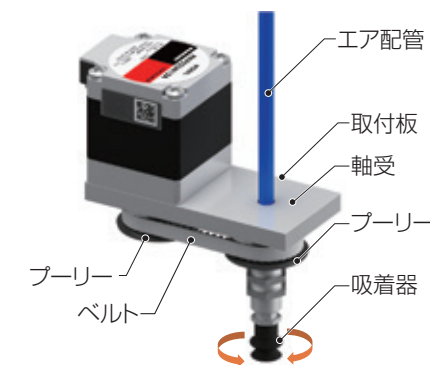
αSTEP AZシリーズにシャフトに中空加工を施したモーターを2025年4月に追加しました。

センサ部の設計を一新したことで、性能を維持しつつ小型化を実現し、一部の機能では性能向上も達成しました。さらに、構造面も見直し、両軸や中空シャフト対応を可能にしています。

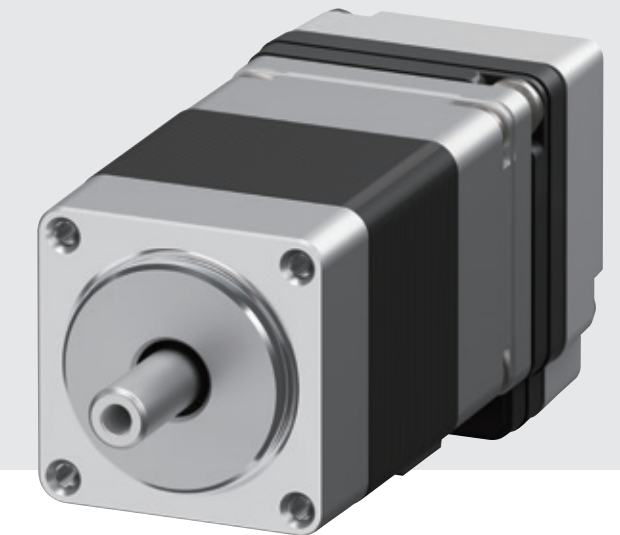
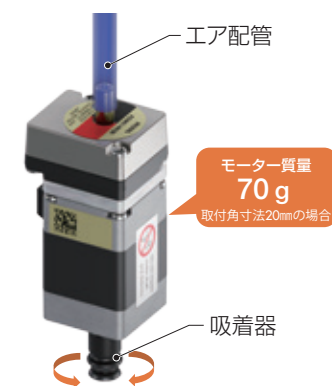
●エア吸着・回転機構に最適

中空シャフトをエア配管の一部として使用することで、ベルト・プーリーなどの部品を削減し、機構設計時間の短縮、コスト削減、省スペース化を実現します。さらに、わずか70gと軽量であるため、エンドエフェクタへの搭載時のタクトタイムの向上に貢献します。

従来のステッピングモーターを使用した場合



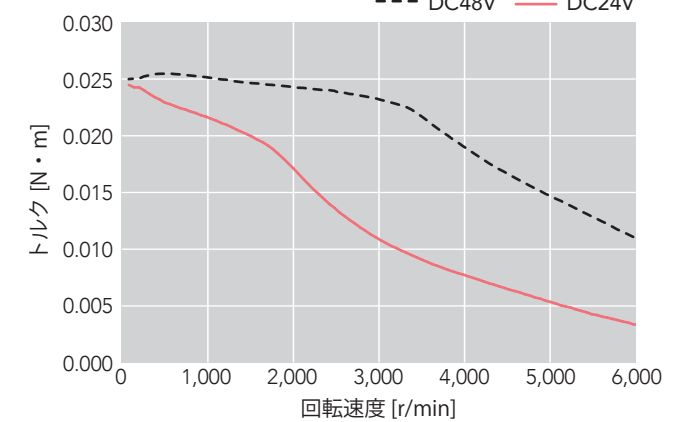
AZシリーズ シャフト中空の場合



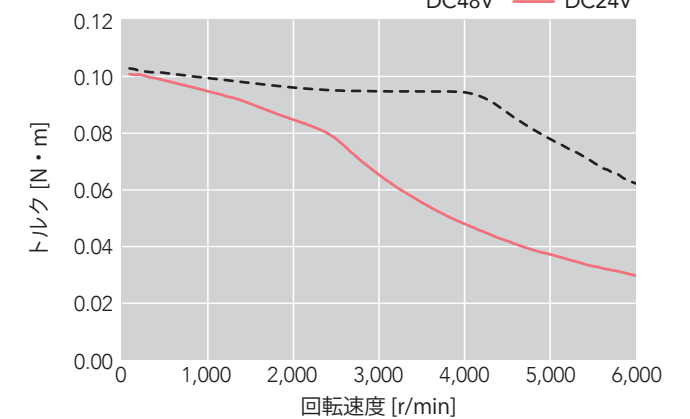
●DC48Vでの運転が可能になり高速時も高トルクを維持

センサの耐熱性を向上させたことにより、従来できなかった取付角寸法20mm、28mmのDC48V駆動が可能になりました。これにより高速時も高トルクを維持できるため、より俊敏でムダのない「動き」を創り出し、タクトタイムの向上に貢献します。エンドエフェクタにおいて、安定した把持力と小型軽量化を両立し、先端の「動き」の自由度をさらに広げます。

AZ シリーズ 取付角寸法 20mm



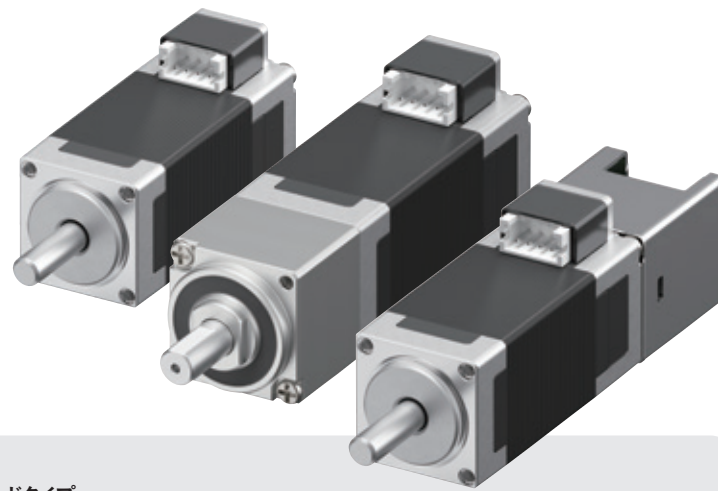
AZ シリーズ 取付角寸法 28mm



ピックアップ技術2

2相ステッピングモーター PKPシリーズ 標準タイプ／ハーモニックギヤードタイプ ／エンコーダ付 取付角寸法 13mm

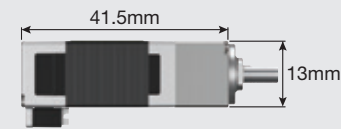
2相ステッピングモーター **PKP** シリーズ 取付角寸法 13mm は、業界最小クラスのステッピングモーターで、装置のさらなる小型化、軽量化に大きく貢献します。



● 取付角寸法わずか13mmでありながら高トルクを実現

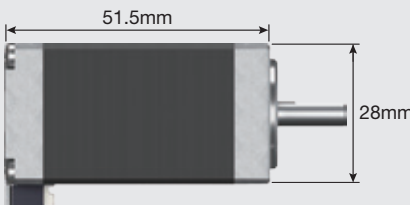
2025年8月にハーモニックギヤードタイプを追加しました。取付角寸法13mmと小型でありながら、取付角寸法28mmの標準タイプと同等のトルクを発揮するステッピングモーターです。限られたスペースでも「動き」の自由度を最大限にします。

ハーモニックギヤードタイプ
取付角寸法13 mm 減速比100

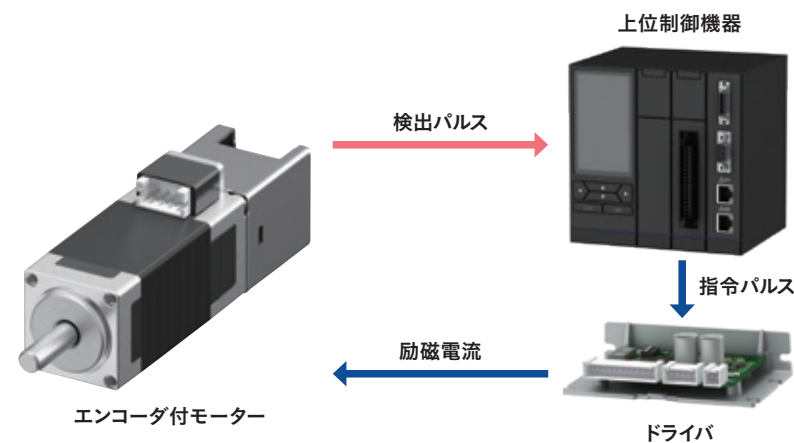


瞬時最大トルク:0.3 N・m
励磁最大静止トルク:0.15 N・m
質量:0.033kg

標準タイプ 取付角寸法28 mm



励磁最大静止トルク:0.19 N・m
質量:0.2 kg



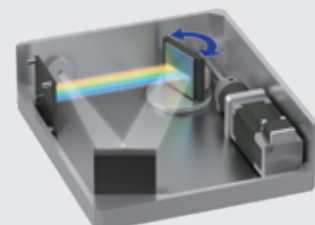
● エンコーダは機能を落とさず、そのままコンパクト

当社ではこれまで、最小クラスのエンコーダ付モーターとして取付角寸法20mmの製品をラインアップしてきましたが、このたび、さらに小型化を実現し、取付角寸法13mmのエンコーダを搭載したステッピングモーターを2026年2月に追加しました。小型化を図りながらも、従来と変わらない精度で位置情報を検出することが可能です。

● 用途例

光学機器分野では、限られたスペースにも組み込みやすく、設備の小型化に貢献します。ハーモニックギヤードタイプでは微細な角度制御やバックラッシュレス特性を活かし、光学ミラーやレンズの精密位置合わせに必要な再現性を確保できます。さらに、エンコーダ付を採用することで、負荷に左右されない高精度な位置検出を実現するとともに、脱調検出によって設備の安定動作と予防保全にも貢献します。

エンドエフェクタでは、求められる高応答性に貢献しつつ、高トルクにより確実な把持力を実現します。複数軸をコンパクトにまとめたロボットハンド用途でも、多様な「動き」を実現します。



光学ミラー、レンズ駆動



ロボットハンド

ピックアップ技術3

小型ロボット OVR3軸水平多関節ロボット

小型ロボット**OVR**3軸水平多関節ロボットに、全方位動作が可能な新モデルを追加しました。ロボットコントローラで制御可能な関節の可動範囲の上限を引き上げ、2本のアームが構成部品と干渉しない構造にしたことにより、従来品では実現できなかった動作が可能になります。



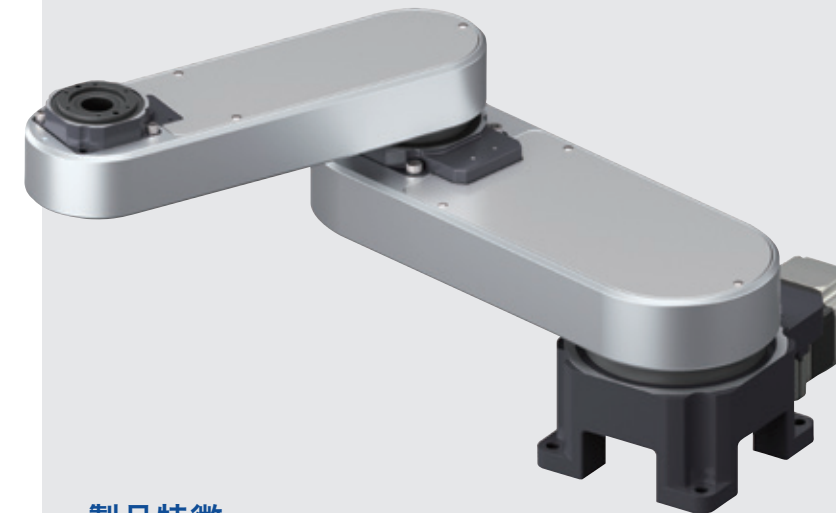
また、「より重いものを運びたい」「より遠くまでアプローチしたい」といったニーズにお応えするため、アームの剛性を高めるとともに、各関節に採用している**DG II**シリーズの仕様を見直しました。それにより、最大可搬質量10kgモデルと、最大リーチ700mmモデルの2機種を新たに追加しました。用途に合わせて柔軟にお選びいただけます。

	最大可搬質量	最大リーチ長
従来品	3 kg	410 mm
高可搬タイプ	10 kg	460 mm
ロングストロークタイプ	3 kg	700 mm

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社主催の「2025年“超”モノづくり部品大賞」において機械・ロボット部品賞を受賞した、ロボットコントローラユニット「**MRCU**」と組み合わせて使用することができます。



モノづくり
部品大賞



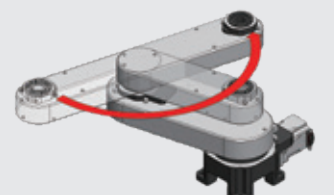
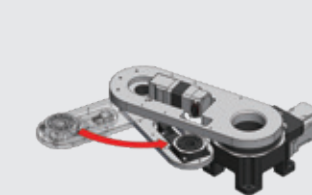
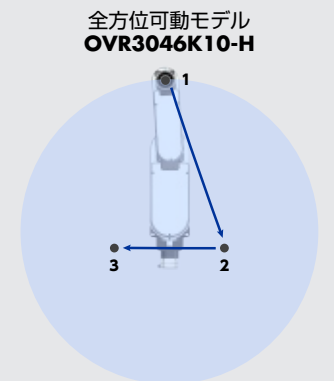
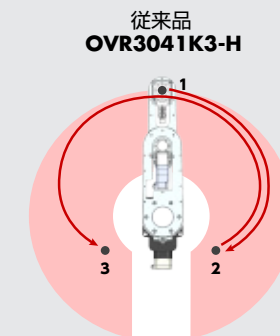
製品特徴

● モーターの張り出しを低減

小型・省スペース

● タクトタイムの短縮

2本のアームが重なる特異点を通過し、ロボット背面方向にも動作可能となったことで、全方位から目標位置へ最適なルートでアプローチでき、タクトタイムの短縮に寄与します。



● 選べる設置形式

架台取付と天井取付が選択できます。天井取付にすることで、ロボット真下も作業スペースとして有効活用できます。



製品の 安全性・信頼性

製品を安心してお使いいただくために、安全性・信頼性を評価する試験体制構築や規格開発活動に取り組んでいます。

製品安全試験所



製品の安全性と試験体制

当社製品は、欧州、北米、アジアをはじめとする世界の主要な安全規格・法令に適合しています。その安全性をより確かなものにするために、つくば事業所に製品安全試験所とEMC試験センターを設けています。公正かつ客観的な試験を中立な立場で実施するために、事業部門から独立した試験所として国際規格ISO/IEC 17025試験所マネジメントシステムによって管理されています。

製品安全試験所は、第三者認証機関であるVDE及びUL (Underwriters Laboratories) の認定試験所としても登録されています。ここではモーター規格IEC 60034-1、UL 1004-1、ドライバ規格UL 61800-5-1、情報技術機器規格IEC 62368-1など40種類の安全規格、265種類の試験の認定を取得しています。当社の幅広い第三者認証取得製品を社内で試験でき、部品や材料の変更などにも迅速に対応できます。

製品の電磁ノイズに関する特性を試験するEMC試験センターには、当社製品の設計を熟知したEMC試験エンジニアが常駐しています。自社でEMC試験施設を運用することで、試験及び解析の技術が継続的に蓄積されています。また、測定の不確かさを低減するさまざまな取り組みによって高い再現性が確保され、正確な試験が可能です。

2026年2月、EMC試験センターで実施できる試験範囲を拡大するためシールドルームを導入しました。

製品安全試験所とEMC試験センターは、新商品開発はもちろん、製品の安定供給をも支えています。

EMC試験センター シールドルーム外観



シールドルームでのEMC試験準備



安全性・信頼性に関する規格開発への貢献

オリエンタルモーターは、高度な自動化の一端を担う製品を提供する企業として、安全・安心な社会の構築に責任があると考えています。以下をはじめ安全性・信頼性に関する規格開発への貢献を通して、自動化による社会課題の解決を支えるとともに当社製品の安全性・信頼性向上に役立てています。

電気安全分野：UL 1004 シリーズ

(回転電気機械の安全規格)

機能安全分野：IEC 61508シリーズ (機能安全)

ISO/IEC TS 22440シリーズ

(人工知能ー機能安全及びAIシステム)

総合信頼性分野：IEC/TC 56 Dependability

総合信頼性JIS素案作成委員会

信頼性を高めるための環境試験

当社製品は、お客様のさまざまな環境で使用されるため、使用環境、使用条件などに起因し、製品寿命を全うできず返却されるケースがあります。新製品の開発において、お客様の使用環境を想定した温度・湿度・振動などの条件における環境試験を行い信頼性が確認された製品をリリースしています。

また、製品の故障に関して調査解析により原理原則に基づいた原因・故障メカニズムを解明し製品改善に努めています。この活動は、つくば事業所の信頼性技術センターで、専任技術者が行い、信頼性の高い製品開発に生かしています。



信頼性技術センター

主な所有評価設備

計測

三次元座標測定機
画像測定機
真円度測定機
表面粗さ輪郭形状測定機

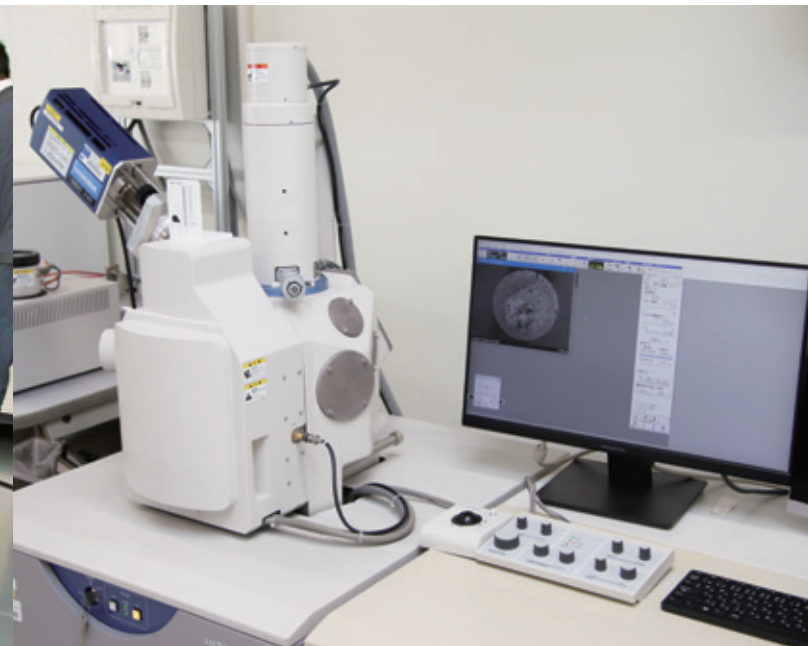
分析

実体顕微鏡
金属顕微鏡
走査型電子顕微鏡 (SEM)
蛍光X線分析装置 (EDX)
赤外分光光度計 (FT-IR)

試験

複合環境試験機
冷熱衝撃試験機
高度加速寿命試験機 (HAST)
塩水噴霧試験機
恒温恒湿槽
精密万能試験機
小型低温恒温槽

走査型電子顕微鏡 (SEM)



複合環境試験機



「動き」を実現する

REALIZE MOTION

生産



品質方針

オリエンタルモーターは、お客様のニーズを捉えた製品の開発および標準化に取り組み、安定したモノづくりと、全員がそれぞれの役割に応じた改善活動を継続することで品質向上に邁進します。

1. 継続的な改善

全ての社員が、品質の重要性を認識し、それぞれの職場における円滑な PDCA サイクルを通して、継続的な改善を実施します。

2. 顧客満足

お客様の声に耳を傾け、それらを商品やサービスの改善に結びつけ、お客様の満足度向上を目指します。

3. 法令等の遵守

法規制をはじめとする社会的要求事項やお客様・取引先様などの合意事項を遵守します。

4. 品質教育

品質教育と社員の創意・工夫を重視し、さらなる技能の習得と品質改善に努めます。

以上を実現するため、品質マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

制定日：1994 年 1 月 6 日
改定日：2023 年 4 月 1 日

動画で伝える、モノづくりの考え方

オリエンタルモーターでは、製品の品質や安定供給を支えているモノづくりの現場や考え方を、動画を通じて発信しています。

工程や設備の紹介にとどまらず、納期への考え方や、多品種・一貫生産、品質を守る仕組み、人材育成、といったモノづくりの基盤となる姿勢を分かりやすく伝えることを目的としています。

本動画は、日本語版をはじめ、地域や用途に応じて多言語展開しており、モノづくりに対する考え方を国内外で共通に伝えるためのコンテンツとして整備しています。

「モノづくりへのこだわり」
動画シリーズ



安定供給と 品質保持のための取り組み

安定供給の実現に向けて

社会環境の変化に対応し、どのような状況下でもお客様の手元に安定して製品をお届けするために、生産能力の強化に努めています。

6年間で生産性を46%向上

2023年度より生産部門全体で「2028年度の生産能力を2019年度比で155%にする」という数値目標を掲げ、①自動化の推進、②生産工程の最適化、③TPM活動に注力してきました。

自動化の推進では、自社製品と設備技術を駆使して、内製のAGVを立ち上げ、各拠点でのライン外業務の生産効率向上を実現しています。

2025年度は高松香西事業所で大規模なレイアウト変更を実施し、モノの動線を整え、そこに内製AGVを活用することで、搬送の自動化が大きく進みました。立ち上げに当たっては若手のメンバーが担当し、技術者育成にも役立っています。それらの技術やノウハウは他拠点にも展開され、改善活動を点から面に広げて、全社での生産性向上に繋がっています。

一方で急な生産については、一拠点だけで対応するのではなく、拠点間の連携で対応できるように業務の標準化を進めています。2025年度も高松で生産していた製品を鶴岡、相馬など離れた拠点でも同じように生産できる体制を整えました。急なお客様へのご要望にも柔軟に対応できる変動に強いモノづくりを今後も進めていきます。

工程間搬送の自動化による 安定した生産運営

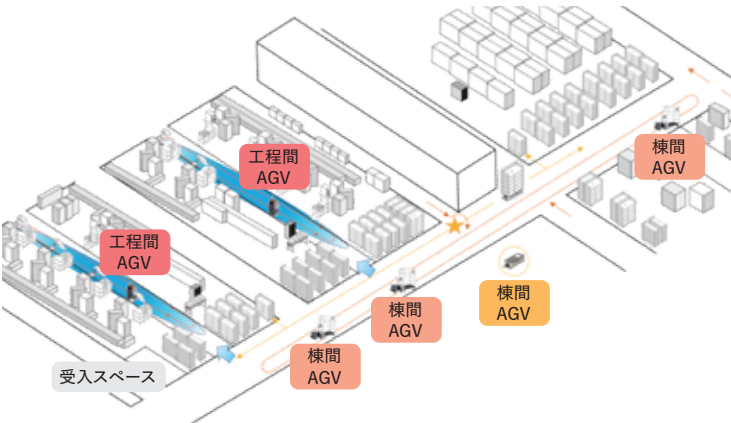
以前は工程間の部品投入を人手で行っていましたが、生産サイクルが早く、仕掛かりを最小限に抑えながら必要なタイミングで部品を供給することが現場の負担となっていました。そうした課題を受け、幅の狭い通路などの条件下でも運用できる工



高松香西事業所のAGV搬送。
対象ラインへAGVが必要部品を運搬し、自動でラインへ投入する

程間搬送の自動化を進めました。

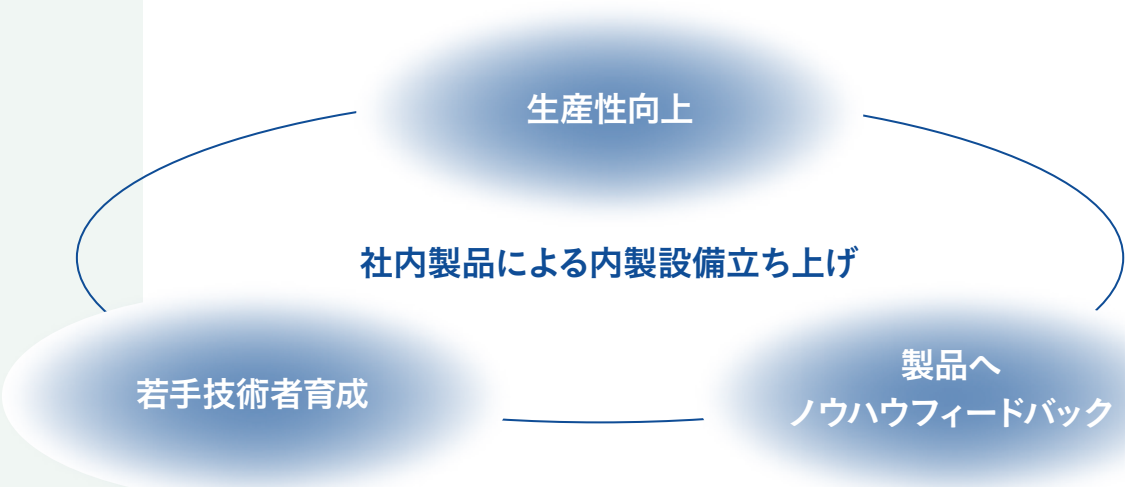
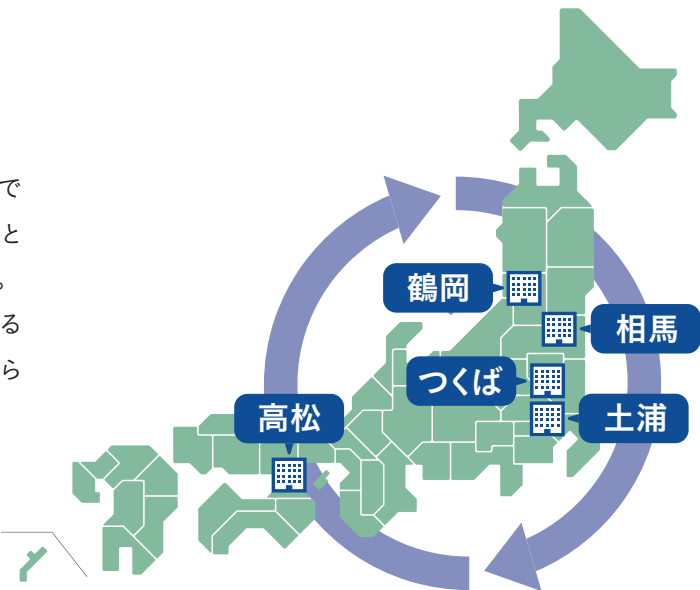
対象ラインへの自動投入に必要な高さ調整や搬送方法については、現場の要望を反映しながら改良を重ねています。これにより、部品供給のばらつきを抑え、ラインの安定稼働を支えています。現在は高松地区だけでなく、他拠点への展開も進めています。



レイアウト変更による動線整理とAGVによる自動投入イメージ

安定供給を支える拠点連携と物流体制

需要の変動や生産環境の変化に備え、同じ製品を複数の拠点で生産できる体制づくりを進めています。特定の拠点到に依存しないことで、生産量の増減が生じた場合にも柔軟な対応が可能となります。また、つくば事業所での新たな倉庫稼働など、拠点連携を支えるロジスティクス機能の強化を進めています。生産と物流の両面から基盤を整えることで、安定供給の維持につなげています。





生産技術を支える技能集団

オリエンタルモーターが提供する精密小型モーター、そのモーターを構成する部品そのものにも精密さが求められます。精密な部品加工のため、建物や空調が整備された工場内にさまざまな高精度加工設備があります。しかし整った環境と高精度加工設備だけでは、精密な部品は生まれません。それらを使いこなす技術を持った人材が必要です。社内では、人材育成と

して幅広い知識と技能が必要な国家資格である「技能士」取得を奨励しています。加工職場の約7割の社員が、何らかの技能検定に合格し技能士となっています。良質で整った環境と高精度な加工設備、そして設備を使いこなす人材がそろい、当社の精密な部品が加工されています。

また設備の維持管理活動に関する資格である「自主保全士」の資格もモノづくり部門の約7割の社員が所持しており、設備をより良く使う知識の向上に役立っています。

2025 年度 「技能士」 在籍数

(単位：人)

職種	作業	特級	1 級	2 級	3 級	合計
機械加工		4	-	-	-	4
	普通旋盤	-	1	6	7	14
	数値制御旋盤	-	8	27	7	42
	ホブ盤	-		10		10
	マシニングセンタ	-	6	9	6	21
	数値制御フライス盤	-		1		1
非接触除去加工	ワイヤ放電加工	-	2	1		3
ダイカスト		2	-	-	-	2
	コールドチャンパーダイカスト	-	5	11		16
プラスチック成形	射出成形	-		2		2
金属熱処理	一般熱処理	-	4	10		14
	高周波・炎熱処理	-	1	4		5
	浸炭・浸炭窒化・窒化处理	-	3	2		5
機械保全		1	-	-	-	1
	機械系保全	-	34	110	26	170
	設備診断	-	4	7		11
	電気系保全	-	5	36		41
機械検査	機械検査	-	1	7	114	122
合計		7	74	243	160	484

2025 年度 「自主保全士」 在籍数

(単位：人)

	1 級	2 級	合計
資格取得者数	221	225	446

取引先様との取り組み

調達の基本方針

安定供給を継続し、環境保全に配慮した資材調達を行うためには、取引先様との協力体制が不可欠です。法規制をはじめとする社会的要求を満たし、取引先様との合意事項を順守し、最適な取引を継続していきます。

法令・社会規範の順守	商取引に関する法規を順守し、調達活動を行います。また、取引に関する機密情報は、許可なく第三者へ開示いたしません。
公正かつ公平な取引	地域・規模・実績の有無を問わず、取引先様に対して公正かつ公平な参入機会を提供します。取引先様と対等な立場で取引を行うことで、継続的な協力関係を構築し、相互の存続・発展を目指します。
グリーン調達の推進	環境保全に配慮し、製品含有化学物質の法規制に対応した管理、運営を定め「有害物を入れない、使わない、出さない」ための活動を行います。そのため、取引先様にも製品含有化学物質管理体制の構築をお願いしています。
総合的な判断による最適な取引	品質、納期、コスト、安定供給力、技術開発力、経営の安定性を総合的に判断して取引を行います。
紛争鉱物を使用しない取引	コンゴ民主共和国またはその周辺諸国で人権侵害を行う武装勢力の資金源となる紛争鉱物（タンタル、スズ、タングステン、金）について、取引先様のご協力のもと調査を実施し、不使用に向けた取り組みを行います。

国際調達の推進

市場環境はグローバルかつスピーディーに変化しています。取引先様との連携による供給力向上と並行し、国際調達を推進します。海外現地法人を中継地点とし、直接対話を行い、現地で品質保証された部品を安定的に供給できる体制を目指します。

パートナーシップ構築宣言の推進

取引先様との長期的な信頼関係の構築と、サプライチェーン全体の付加価値向上を目指し「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表しています。



広州オリエンタルモーターで行う品質検査

取引先様とのコミュニケーション

- ・対話、情報交流による継続的な協力関係を構築
- ・品質改善、納期改善、原価低減を行う際、取引先様の現場に赴き、現地・現物をもとに対話を重ねる
- ・取引先様の企業価値向上も目指すコミュニケーション
- ・より良い製品開発を目的とした技術交流の実施
- ・オンラインの活用



取引先様との技術交流

「動き」で変えていく

CHANGE WITH MOTION

課題解決・価値創造

お客様の最適な「モーション」を実現するために

世界中のお客様が、
「こんな動きをつくりたい」「こんなことができたなら」と感じたとき、
私たちオリエンタルモーターの製品バリエーションが、
お客様の課題解決にお応えしていきます。

自動化

生産性向上

技術発展

高効率
・
省資源

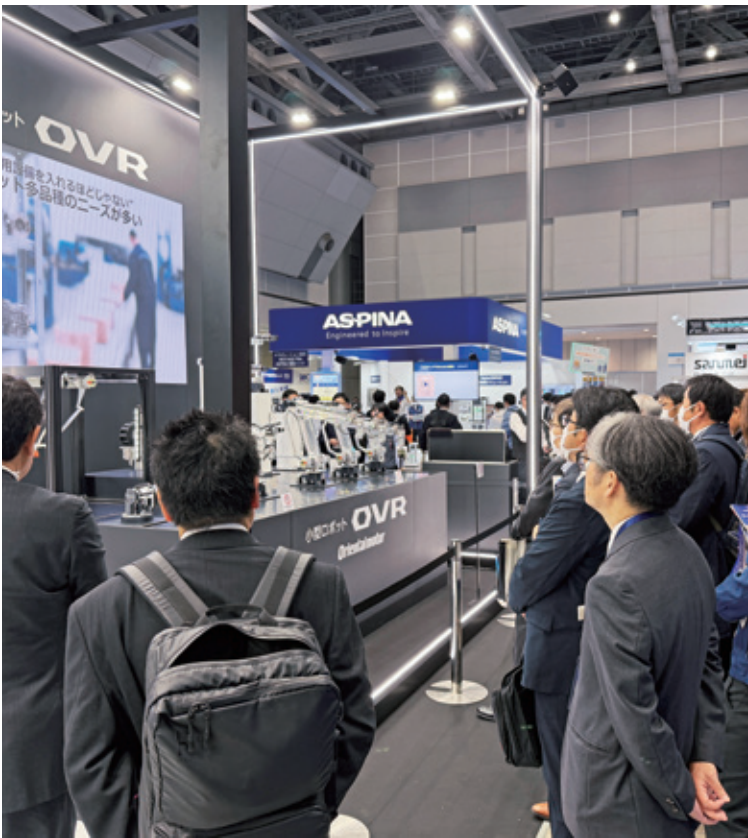
安全・安心

展示会での情報発信

省人化、自動化、生産性向上などのお客様の課題に対して2025年度も展示会への出展を通じて、その解決策をご提案しました。

2025年は、小型ロボット**OVR**を中心に実機での販促活動を行い、自社主催イベント「MOTION MIRAI PARK」(p.6-7)のほか、食品、医薬・化粧品、物流、包装、ロボット業界 関連の一般展示会への出展を通じて、新たな顧客層へのプロモーションを推進しました。これらの取り組みにより、多くのお客様への提案機会を創出し、受注拡大に寄与しました。

開催地		展示会名
日本	大阪	ロボデックス(大阪)／Factory Innovation Week
	東京	FOOMA JAPAN 2025
	東京	ファーマDX EXPO東京
	東京	国際物流総合展2025
	大阪	機械要素技術展 関西(ものづくりワールド)
	東京	JAPAN PACK 2025 日本包装産業展
	九州	九州モノづくりフェア2025
	名古屋	ロボデックス(名古屋)／Factory Innovation Week
	東京	2025国際ロボット展
	オンライン	2025国際ロボット展オンライン
USA	Boston	Robotics Summit & Expo 2025
	Detroit	Automate 2025
	Las Vegas	PACK EXPO International 2025
	Phoenix	SEMICON West 2025
	Santa Clara	Robobusiness 2025
Germany	Hamburg	AAA Hamburg 2025
	Munich	automatica 2025
	Wetzlar	AAA Wetzlar 2025
	Duesseldorf	AAA Duesseldorf 2025
	Chemnitz	AAA Chemnitz 2025
	Nuremberg	SPS 2025
Italy	Parma	SPS Italia 2025
China	Shenzhen	深圳華南国際産業博覧会 (SCIIF)
		中国国際光電博覧会 (CIOE 2025)
	Shanghai	中国国際工業博覧会 (CIIF 2025)
		SEMICON China 2026
Taiwan	Taipei	Automation Taipei 2025
Vietnam	Binh Duong	Manufacturing Binh Duong 2025
	Ho Chi Minh	MTA Vietnam 2025
Indonesia	Jakarta	Manufacturing Indonesia 2025
Malaysia	Kuala Lumpur	Metaltech 2025
	Penang	autoMEX PENANG 2025
Thailand	Bangkok	Manufacturing Expo 2025
		METALEX 2025
India	Mumbai	Automation Expo 2025
	Delhi	Medicall Delhi 2025
	Ahmedabad	ENGIMACH 2025



お客様の現場課題の解決に向けたサービスサポートの拡充

オリエンタルモーターは、約半世紀にわたり製品提供とともにサービスサポートに取り組み、お客様のモノづくりを支えてきました。

近年、少子高齢化による人材不足や装置の高度化が進む中で、製品導入後の運用や保守まで含めた支援の重要性は一層高まっています。

こうした社会的背景を受け、当社はサービスサポートを単なる付帯業務ではなく、お客様の現場価値を高める取り組みとし

て再定義し、2025年度には専門組織を立ち上げました。メーカーとして培ってきた技術力と知見を生かし、製品選定から立ち上げ、運用・保守までを一貫して支援できる点が強みです。

サービスは、お客様の現場に寄り添い、課題解決を支援する「伴走型」を基本姿勢とし、現場力の向上やトラブルの未然防止に貢献することを目指しています。

今後もサービスの価値を分かりやすく伝え、モノづくりの持続性を支えるパートナーとして社会に貢献していきます。

オリエンタルモーターの Motion Support

テクニカルサポート

情報を迅速に、正確に提供

ご相談センター

フィールドサービス

選定サービス

エンジニアリングサポート

お客様の課題解決をサポート

プログラム作成サポート

セットアップサポート

モーター交換サポート

その他サポート

技術セミナー

ロボットレンタルサービス

ロボット実機体験・ワークテスト

検査・修理サービス



本写真は撮影用に安全カバーを取り外しています。

「見て」「触れて」「動かせる」体験型ショールーム Robot Lab (ロボットラボ) の開設

お客様のワークを使った実機テスト、ロボットコントローラのセットアップからプログラミングまでの一連の流れを体験できる施設 Robot Lab (ロボットラボ) を2025年6月、新御徒町にオープンしました。

垂直多関節・水平多関節・直交・パラレルリンクロボットのデモ機を展示しており、さまざまな動きをご覧いただけます。

はじめてロボットを検討・購入する際の不安解消や自動化展開の相談など、お客様との接点の場として活動しています。

新御徒町に続き、8月に豊田、10月に大阪に展開し、お客様の自動化ソリューションを支える「新たな役割」として今後も力を入れていきます。

本写真は撮影用に安全カバーを取り外しています。



小型ロボットOVR 搭載 移動展示車 ロボカーの導入

小型ロボットOVRの認知拡大と販売機会の創出を図るため、移動展示車ロボカーを導入しました。

ロボカーでは、各種小型ロボットを搭載した複合デモンstrーション機器をご覧いただけるほか、電動グリッパやOVRの操作体験ができます。2025年は2台で全国を訪問しましたが、2026年度中に既存ロボカーに搭載されている製品を更新する

だけでなく、新たに2台のロボカーを追加し、計4名でお客様訪問の機会を増やしていきます。

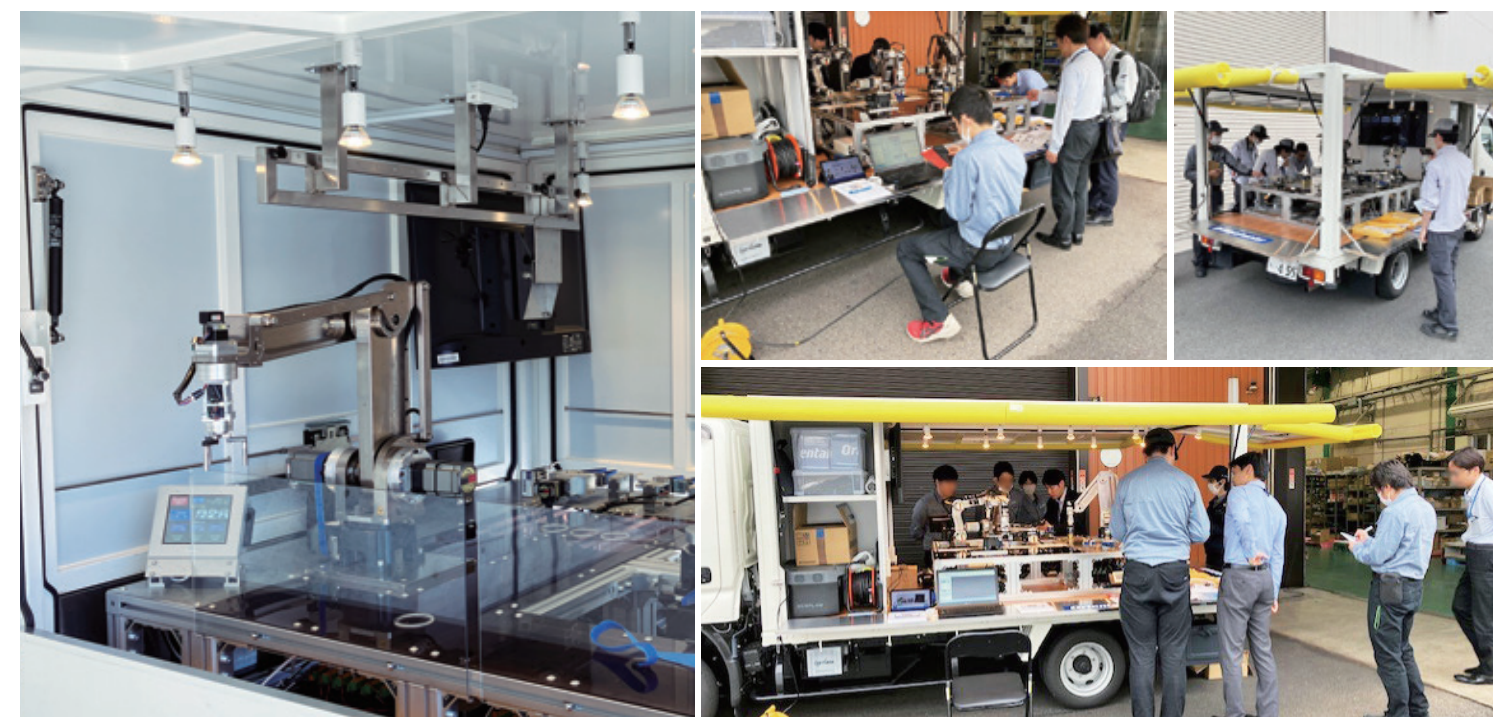
2025年実績

353社
5,121名訪問

ロボカー詳細については
こちらから



ロボカーに搭載の“3軸・4軸・6軸OVR複合デモ機”



「動く」シーンを 環境に優しく

環境方針

オリエンタルモーターは、地球環境問題が重要課題であることを認識し、事業活動を通して環境の保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

- 1.気候変動への対応
事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー活動等により、カーボンニュートラル実現に取り組めます。
- 2.省資源・資源循環の促進
事業活動での省資源活動と廃棄物削減およびリサイクルに努め、資源循環の取り組みを推進します。
- 3.環境に配慮した製品・サービスの提供
製品のライフサイクルにおいて、当社の強み・技術を活かし、環境に配慮した製品・サービスの提供を積極的に推進します。
- 4.地域の環境保全・生物多様性
地域社会の環境保護活動ならびに生態系保全に積極的に取り組み、地域社会との共生を図ります。

- 5.法令等の遵守
環境関連法規制をはじめとする社会的要求事項を遵守し、環境汚染防止に努めます。
- 6.環境教育
環境教育と社員の創意工夫を重視し、さらなる環境負荷低減に努めます。

以上を実現するため、環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。
環境活動に関する情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日:1999年8月6日
改定日:2023年4月1日

当社は地球環境問題が重要課題であることを認識し、1999年には環境方針を制定して気候変動への対応や資源循環など、持続可能な社会を目指した取り組みを進めてきました。

そして、ISO 14001認証を取得し、環境マネジメントシステムを構築・運用しています。環境目標の設定、実施、評価、改善を継続的にを行い、環境パフォーマンスの向上を図っています。

気候変動への対応としては、2050年度までに温室効果ガスの排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」を実現すべく、中期目標として2030年度までに50%削減(2013年度比)を目指しています。製品においてもエネルギー性能に優れたモーターの開発・提供を通じて、社会、お客様へのCO₂排出量削減に貢献していきます。

そして、資源の有効活用のため、リサイクル率の維持向上など、資源循環の構築に貢献していきます。

カーボンニュートラル目標

2050年度までに
当社事業活動に伴うCO₂
排出量ゼロを目指します。

2030年度までに
CO₂排出量の2013年度比
50%削減を目指します。

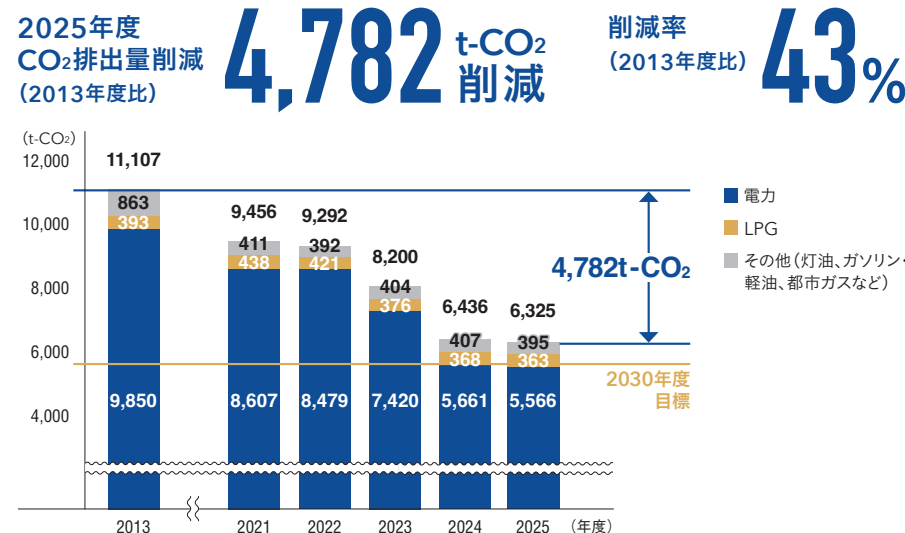
Result 2025年度の環境活動実績・パフォーマンス

環境活動の目標と実績

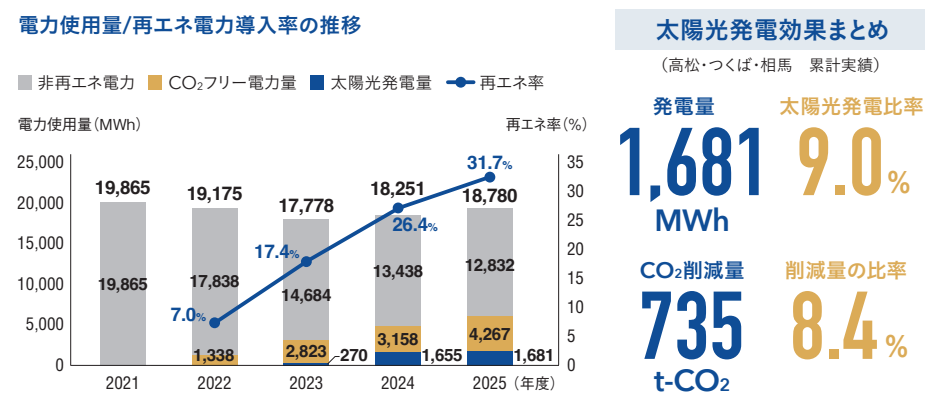
	2025 年度目標	2025 年度実績	2026 年度目標
CO ₂ 排出量の削減	中期目標の達成に向け、CO ₂ 排出量を7,187t-CO ₂ *以下とする	太陽光発電システムの増設や省エネ活動により、CO ₂ 排出量6,325t-CO ₂ となり目標達成	中期目標の達成に向け、CO ₂ 排出量を6,860t-CO ₂ 以下とする
エネルギーの管理	5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する	空調設備や照明の更新を積極的に推進。生産性の向上や省エネ活動等により、エネルギー効率が向上。 5年度間平均原単位の8%低減を達成	5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する
廃棄物の管理	廃棄物削減活動の継続 国内生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する	廃棄物の総排出量3,236t(前年度比102%) 国内生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.4%を達成	廃棄物削減活動の継続 国内生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する

※事業活動の変化やこれまでの進捗を踏まえ、2030年度に向けた排出量目標を実態に合わせて見直しています。

CO₂排出量推移:基準年(2013年度)と直近5年間



電力使用量/再エネ電力導入率推移5年間



※報告範囲

・エネルギーデータ(電力使用量、LPG使用量、灯油使用量、ガソリン・軽油使用量およびCO₂排出量):日本国内のオリエンタルモーターおよびグループ会社
・エネルギーデータ以外:国内生産拠点

※CO₂排出量の算出については環境省・経済産業省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」を参照しています。

環境負荷データ

インプット

電力使用量	18,780MWh
LPG 使用量	121t
灯油使用量	74kl
ガソリン・軽油使用量	88kl
水使用量	31,448m ³
紙使用量	25.8t
容器包装材	1,078t

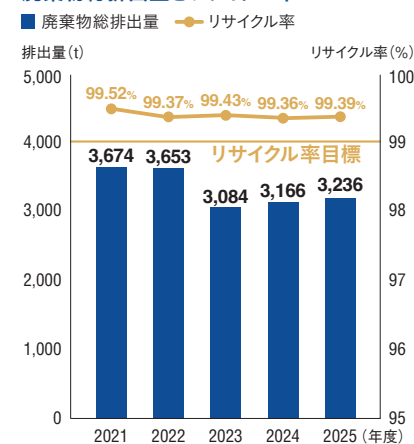
オリエンタルモーター
事業活動

アウトプット

CO ₂ 排出量	6,325t-CO ₂
廃棄物総量	3,236t
リサイクル量	3,217t
焼却埋処分量	20t
排水量	26,929m ³

廃棄物総排出量/ リサイクル率

廃棄物総排出量とリサイクル率(国内生産拠点)



Result

2025年度の環境活動実績・パフォーマンス

サプライチェーン排出量

2025年度の当社サプライチェーン全体のCO₂排出量は2,378千t-CO₂でした。このうち、自社の事業活動に伴う排出であるScope1は0.8千t-CO₂、Scope2は5.6千t-CO₂となり、2030年度中期目標に向けて着実に削減が進んでいます。

一方、サプライチェーン全体の排出量の大半はScope3が占めています。特に「製品使用時」の排出量が2,210千t-CO₂（93%）と最も大きく、次いで「部品生産」による排出が146千t-CO₂（6%）となりました。

これらの状況から、自社のScope1,2削減に加え、製品使用段階での排出削減がより重要性を増しています。

当社は、高効率製品の開発・提供を一層強化し、お客様のCO₂排出量削減に貢献していきます。

CO₂排出量 (Scope1, 2, 3) 2025年度実績

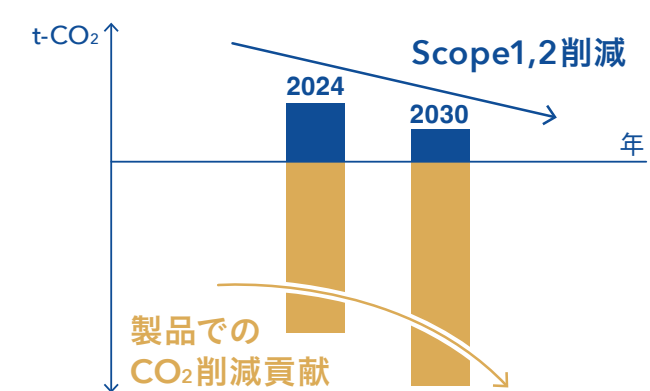
自社	
Scope1	Scope2
	
燃料の燃焼 0.8千t-CO ₂	電力の使用 5.6千t-CO ₂
サプライチェーン上流・下流	
Scope3	
部品の生産 146千t-CO ₂	輸送 12.8千t-CO ₂
通勤・出張 1.4千t-CO ₂	製品の使用 2,210千t-CO ₂
	その他 1.3千t-CO ₂

・Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
・Scope2: 他社から供給された電気の使用に伴う間接排出
・Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）
15のCategory のうちCategory 1,3,4,5,6,7,11について算定
算定方法: 環境省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.7）」

CO₂削減貢献量

CO₂削減貢献量とは、従来使用されていた製品・サービスをより環境に配慮した自社製品・サービスを導入いただくことで、お客様や社会へ貢献する「削減量」のことです。Scope3の製品使用時のCO₂排出量とは異なる指標となり、CO₂削減貢献量で、製品使用時のCO₂排出量を相殺することはできないものですが、製品を通じて貢献する証となるものです。

製品を通じたCO₂削減への貢献量



環境配慮製品でのCO₂削減貢献量：923千t-CO₂

ブラシレスモーター**BLV**シリーズ、**αSTEP AZ**シリーズなど、従来品より高効率な製品の提供により、2025年度のCO₂排出削減貢献量は、923千t-CO₂となりました。これは、当社のScope1,2における排出量の143倍に相当し、社会全体への貢献量を示しています。

CO₂
削減貢献量

=

従来品
使用での
CO₂排出量

=

環境配慮製品
使用での
CO₂排出量

（環境省資料：サプライチェーン排出量の算定と削減に向けて）

Action

2025年度の環境活動

事業活動での取り組み

事業活動では、気候変動や資源循環といった課題に対し目標設定を行い取り組んでいます。

Scope1,2における温室効果ガスの削減については、省エネ、創エネ、再エネ調達の3つの活動を柱に積極的に取り組んでいます。

資源循環では廃棄物の管理においてもリサイクル率99%以上を維持という目標を掲げ、99.4%の実績となりました。今後も日々削減に取り組んでいきます。

化学物質管理においては、社内で使用する化学物質について環境面でも法規制の遵守と使用時、廃棄時における管理に取り組んでいます。

太陽光発電の取り組み

当社における太陽光発電の取り組みは、2013年11月に相馬事業所へ750kWのFIT（固定価格買取制度）による発電設備を導入したことから始まりました。

その後、2023年度には自家消費型太陽光発電システムを高松国分寺事業所、つくば事業所、相馬事業所の3拠点に設置し、再生可能エネルギー電力の活用を本格的に進めています。

さらに2025年度には高松香西事業所にも新たに導入し、4拠点合計で年間発電電力量1,681MWh（全社年間使用電力量の9.0%相当）を自社発電により賄いました。

今後も計画的に再生可能エネルギーの導入を推進し、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



省エネ活動

事例1：能代オリエンタルモーター

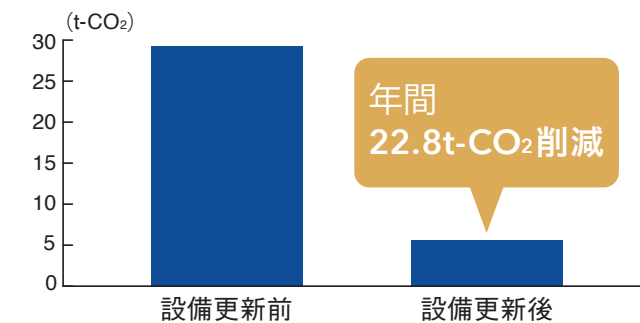
ダイカストマシン更新による環境負荷低減

能代オリエンタルモーターでは、30年間使用したダイカストマ

シンを更新するにあたり、消費電力削減を目指した設備導入を進めました。新たに導入した省エネ型のマシンにより、導入後の消費電力は約80%削減（年間54,144kWh相当）となり、年間で22.8t-CO₂の削減効果を達成しています。

また、マシン更新を機に離型剤（成形時に金型から製品を取り出しやすくするための薬剤）の塗布方式を見直し、必要な箇所に必要な量のみを塗布する方式へ変更しました。これにより離型剤使用量を13%まで低減し、塗布時に発生していた余剰分がなくなったことから離型剤廃液ゼロも実現しました。

ダイカストマシン年間CO₂排出量



事例2：土浦事業所

実測データに基づくエア漏れ対策による省エネ活動

土浦事業所では、日常的な省エネ活動の一環として、さらなる改善余地はないかという視点からエア使用状況に着目しました。流量計を設置してエア消費量を実測し、生産終了後も含めて現状を定量的に把握した結果、設備停止時にも供給され続けるエアパージ（設備内部に異物や水分が入ることを防ぐための空気供給）が最大のロス要因であることをデータに基づき特定しました。

そこで、実測値をもとに重点設備を選定し、「止められるエアを確実に止める」対策を推進しました。電源連動で作動する電磁弁を活用した自動制御化により、非稼働時のエア消費を大幅に削減し、7,507kWh／年（3.2t-CO₂）の削減効果を達成しています。



超音波カメラによるエア漏れ状況の確認 エア漏れの様子（超音波カメラ画像）

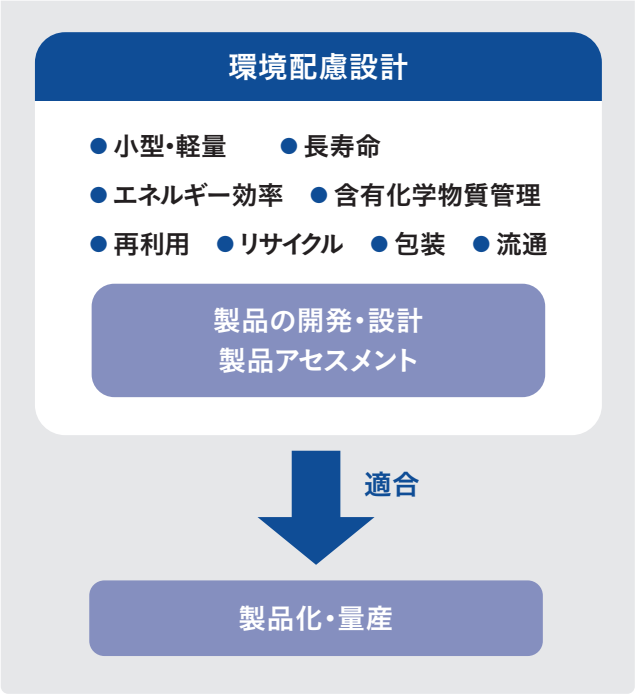
製品での取り組み

環境配慮設計

オリエンタルモーターでは、脱炭素社会の実現に向けて、開発・設計プロセスを取り入れた環境配慮設計（エコデザイン）を推進し、ライフサイクル全体としての環境負荷の低減を進めています。

環境配慮設計の評価指標である製品アセスメントにより、省資源（小型・軽量）、長寿命、エネルギー効率、安心・安全性などの観点から製品の環境への影響を評価し、環境に配慮した製品の開発を進めています。

環境配慮設計を浸透させることで設計者をはじめとする関係部門の環境に対する意識の向上を図っています。



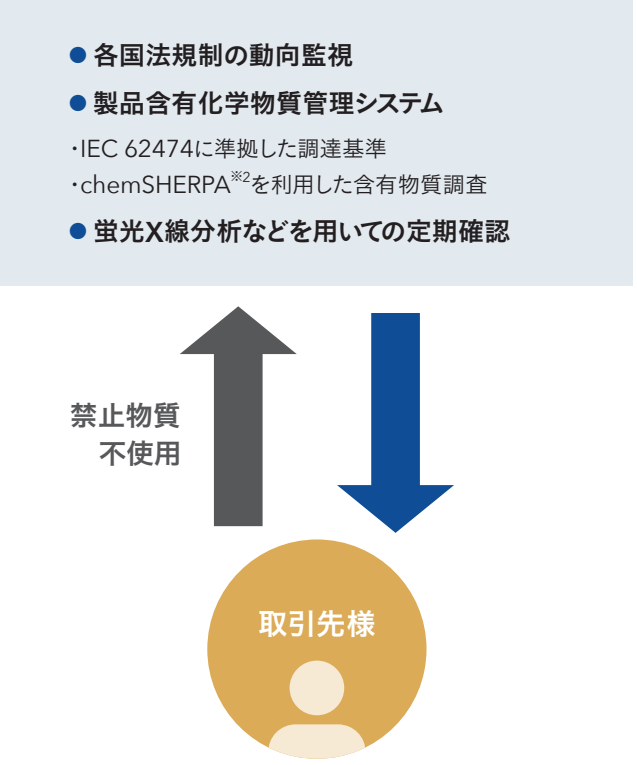
製品含有化学物質の管理

欧州をはじめとした世界各国の環境への取り組みに対する各法規制や社会的要請が益々強まっています。

当社では各国法規制の動向を監視し、今後規制される可能性の高い物質について早い段階で製品への影響確認を行い、お客様に安心・安全にご使用いただける製品の提供に努めています。

使用する部品や材料の調達では、国際規格IEC 62474^{※1}に準拠した自社の「グリーン調達基準」を策定し、EU RoHS指令・EU REACH規則をはじめとした主要な法規制についての製品含有化学物質を管理しています。

製品の開発設計段階から、取引先様のご協力のもと、構成部品・材料・副資材に含有する化学物質の情報を入手し、社内の「製品含有化学物質管理システム」で情報を管理することで、新たな規制への影響確認やお客様からのお問い合わせに対応しています。

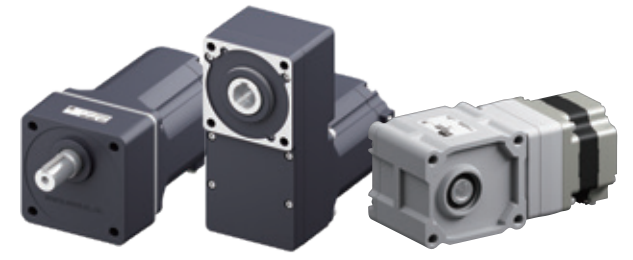


※1 電気・電子業界の製品に含有する化学物質や構成部品に関するサプライチェーンの情報伝達の手順・内容を規定した国際規格

※2 製品に含有される化学物質の情報をサプライチェーン全体で効率的に伝達することを目的に、経済産業省が主導して開発された情報伝達スキーム

2025年度
環境に貢献する製品

製品を通じて環境負荷の低減に貢献するため、CO₂排出量の削減に貢献できるエネルギー効率の高いモーター、省資源化や廃棄物の削減につながる製品を提供しています。



ブラシレスモーター（PMモーター）
60W～750W

ブラシレスモーターは、ローターに永久磁石を使用したPMモーターを採用しています。永久磁石を使用しているため、高効率で小型・軽量です。効率レベルはIE5[※]を達成し、電気料金とCO₂排出量の削減に貢献します。

省エネ効果（1台の参考値）

	消費電力量 (kWh/ 年)	CO ₂ 排出量 (kg -CO ₂ / 年)	電気料金 (円 / 年)
インダクション モーター 200W	2,290	1,050	51,900
PM モーター 200W + インバータ	1,990	910	45,100

【運転条件】
1日の駆動時間24h、年間稼働日数365日、電力-CO₂排出量換算係数0.457kg-CO₂/kWh、電力料金22.68円/kWh で算出

消費電力量	300kWh/年の削減	CO ₂ 排出量	140kg-CO ₂ /年の削減
-------	-------------	---------------------	-----------------------------

小型・軽量

モーターサイズを大幅に縮小
装置の小型化に貢献

省エネ

IE5レベルを達成
電気料金を削減

低騒音

ファンレスで騒音値低減
また、粉塵などの飛散がない

ブラシレスモーター
ステンレスタイプ200W

ステンレスタイプは、保護等級IP67、IP69Kに適合した防塵・防水性能に優れ、高温・高圧洗浄が可能なブラシレスモーターです。

欧州での設計ガイドライン（EHEDG）で求められる仕様に合わせ、水が溜まりにくい形状にしたことで、モーターをカバーで覆う必要がありません。カバーレスによりカバー周辺の部品数が削減できます。また、お客様装置が小型となり、省資源化に貢献します。さらに、可変速モーターの効率クラスIE5[※]相当の高効率モーターです。IE3相当のACモーターのステンレスタイプと比較し、ランニングコストを低減できます。

※IEC TS 60034-30-2に基づく可変速モーター（定格回転速度1801-6000r/min）の効率規定値（%）です。

従来品（カバータイプ）	ステンレスタイプ
・カバー ・カバー取付ねじ ・取付ねじ	・取付ねじ
計 3 点	計 1 点

軸流ファン MRSシリーズ
取付角寸法300mm

MRS30は軸受にセラミックボールベアリングを採用しているため、商用電源だけでなく、インバータでの駆動に対応しています。

インバータで速度を制御することで、ファンの消費電力や騒音を低減できます。例として、MRS30の最大風量をMRS25と同程度に揃えると消費電力を約46％削減できます。

	MRS30 速度制御 (1700 r/min)	MRS25 全速運転 (3400 r/min)
風量 [m ³ /min] ^{※1}	24	24
騒音レベル [dB(A)]	60	62
消費電力 [W]	44	82
消費電力量 [kWh/ 年]	385	718
電気料金 [円 / 年] ^{※2}	8,730	16,300
CO ₂ 排出量 [kg] ^{※3}	176	328

※1 最大風量での比較

※2 22.68円/kWhで計算

※3 電力-CO₂排出量換算係数0.457kg-CO₂/kWh

With People



労働安全衛生方針

オリエンタルモーターは、全ての活動において労働安全衛生が重要課題であることを認識し、安全で心身ともに健康的な職場を提供する「人に優しい企業」として、全員参加で労働安全衛生活動に積極的に取り組みます。

1. 労働安全衛生リスクの低減

全ての活動において、危険箇所の低減、5S の徹底、職場環境の整備、防火管理および心身の健康増進活動などを通して、災害および事故の低減に努めます。

2. 全員参加

全ての社員が労働安全衛生課題に積極的に取り組めるように、社員の意見を尊重し、安全衛生委員会を主として情報の共有や協議を推進します。

3. 交通安全活動

交通安全活動の展開により安全運転意識を向上し、業務および通勤時の交通事故防止に努めます。

4. 法令等の遵守

労働安全衛生法をはじめ関連する諸法令および社内基準を遵守します。また、必要な法定資格の取得を推進し、維持発展できる体制を目指します。

5. 労働安全衛生教育

幅広い労働安全衛生教育を通して、課題を遂行できる知識の習得と意識の向上に努めます。

以上を実現するため、労働安全衛生マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

制定日：2004 年 7 月 7 日
改定日：2023 年 4 月 1 日

社員とともに

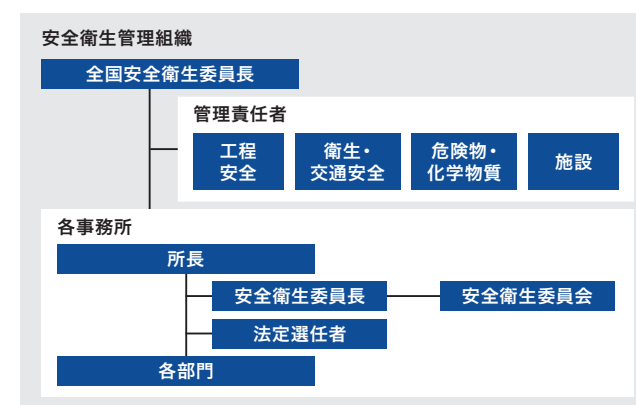
オリエンタルモーターは、社員が生き生きと働ける、安心・安全な職場づくりに取り組んでいます。

生き生きと働くための職場づくり

労働安全衛生の取り組み

信頼性の高い製品を提供する企業活動の基本は、社員の健康と安全だと考えています。「人に優しい企業」を目指し、全員参加で積極的に労働安全衛生活動に取り組んでいます。

安全衛生推進体制

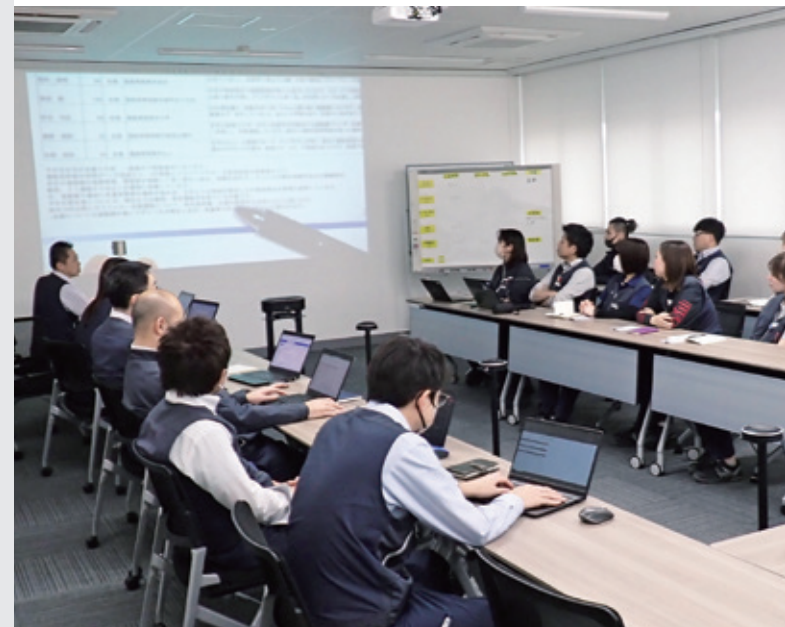


労働災害

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
災害件数(休業1日以上)	3件	0件	2件	2件
度数率 [※]				
オリエンタルモーター(国内グループ会社含む)	0.74	0.00	0.47	0.46
(参考)製造業	1.25	1.29	1.3	-
(参考)電気機械器具製造	0.53	0.54	0.67	-

※100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(参考)厚生労働省 労働災害動向調査より

安全衛生委員会の活動

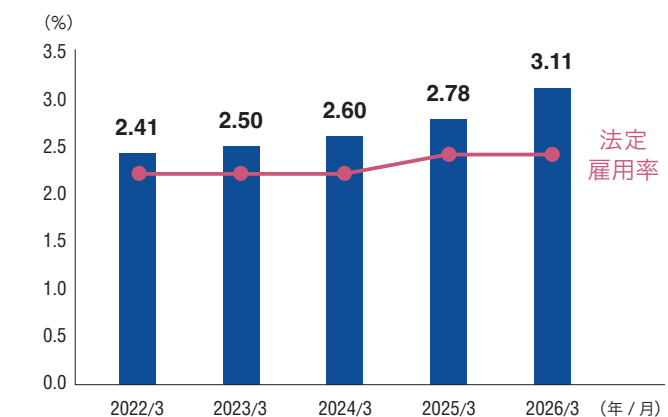


ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み

ダイバーシティ&インクルージョン推進の一環として、さまざまな人材が能力を発揮できる職場づくりに取り組んでいます。障がい者雇用については、推進課を設置して体制を強化した結果、発足から4カ月で成果が現れ、当初計画より2年前倒しで障がい者雇用率3.11%を達成しました。雇用数の拡大だけでなく定着にも重点を置き、3年後の定着率80%達成を目標に、学校や就労支援機関との連携による採用活動や、定期面談などの定着支援を進めています。さらに、外部コンサルティングや部署ヒアリングを通じた業務創出、企業内籍型ジョブコーチの拡充により支援体制を強化しています。加えて、部下育成力の向上やキャリア自律を促す施策を継続的に実施した結果、女性管理職比率は8.6%から9.1%へ向上するなど、着実に成果が表れています。

▶ 詳細は、P44 コーポレートデータへ

障がい者雇用率



障がい者雇用推進課の打ち合わせ



健康経営

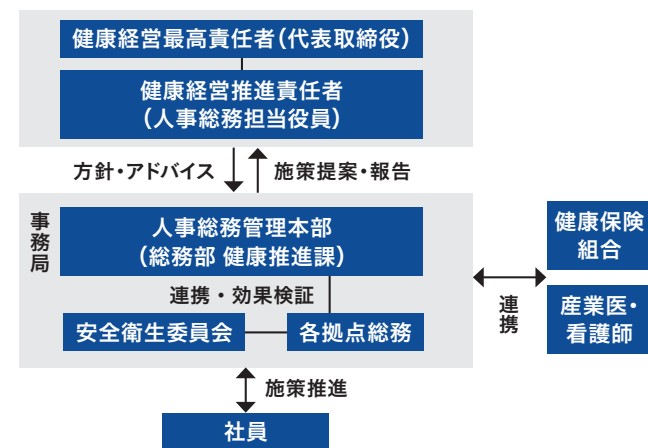
オリエンタルモーター健康経営宣言

オリエンタルモーターは、企業として新たな価値を創造し持続的に成長していくため、生き生きとやりがいをもって一人ひとりが働くことを目的として健康経営を推進し、社員が心身ともに健康かつ快適に働くことのできる職場環境を実現していきます。

2021年10月1日制定
オリエンタルモーター株式会社
代表取締役執行役員社長
健康経営最高責任者
川人 英二

推進体制

オリエンタルモーターは、健康経営最高責任者を代表取締役社長と定め健康経営推進体制を構築し、健康保険組合、産業医、看護師と連携しながら、社員の健康維持と増進を図ります。



健康イベント(鶴岡)



健康経営重点項目

今後も重点項目をもとに、健康づくりをより一層推進し必要な施策を行っていきます。

生活習慣病対策

- ・ 定期健康診断の受診100 %
- ・ 有所見・メタボリックシンドローム該当者への対応(再検査、保健指導の受診促進)

メンタルヘルス対策

- ・ ストレスチェック受検促進
- ・ 各種メンタルヘルス講習・若手向けカウンセリングの実施
- ・ メンタルヘルス施策(社外EAP契約、産業医との連携)

喫煙対策

- ・ 受動喫煙対策の促進
- ・ 禁煙イベント、キャンペーンの実施

職場環境の改善と健康意識の向上

- ・ 全社健康データの把握・分析による健康課題の明確化
- ・ 全社的なイベントの実施(ウォーキングなど)
- ・ 所定外労働時間・休暇取得状況の把握および業務効率化・休暇取得推進
- ・ さまざまな健康意識向上活動の展開

感染症への取り組み

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
- ・ インフルエンザ対策 など

健康イベント(土浦)



衛生講和(つくば)



睡眠セミナー(上野)

健康経営の取り組み

35歳以上の人間ドック受診、残業・滞留時間管理、ウォーキングキャンペーンの実施、インフルエンザ感染症予防、喫煙率低減活動などの健康施策に取り組んでいます。

生活習慣病対策

35歳以上の社員には人間ドックの受診を奨励しており、女性向けには婦人科健診を常設しています。健診受診後は、特定保健指導や二次健診受診の受診勧奨を積極的に行い、疾病予防・重症化予防につなげています。

メンタルヘルス対策

入社1～2年目の社員を対象に外部EAP※によるセルフケア研修・カウンセリングを実施し、対象社員の大多数が参加しました。また、リーダー層には必要に応じてラインケア研修を行い、職場環境改善のきっかけづくりを行いました。

※EAP=Employee Assistance Program(従業員支援プログラム)の略

ウォーキングキャンペーンの実施

毎年ウォーキングキャンペーンを実施しています。全参加者のランキングを共有できる健康アプリを使用し、2025年度は海外駐在員も参加し、参加率90.4%、目標達成率70.9%となりました。

健康データの活用

健康診断や生活習慣データを分析して、自社の健康状態・

課題を明らかにした上でさまざまな施策を展開しています。健康面における生産性の向上を目指し、社員が健康意識を高められるような環境を整備していきます。

▶ 詳細は、P45 コーポレートデータへ

「健康経営優良法人」に認定

経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度で、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として2026年3月「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に6年連続で認定されました。

また、グループ会社である能代オリエンタルモーターも同時に「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に2年連続で認定されました。



「共に育つ」人材育成

人事制度変更に合わせた教育体系の見直し

2023年度の人事制度変更以降、その考え方に即した人材育成を推進するため、新たな研究会の立ち上げや既存カリキュラムの見直しなど、教育体系の整備を進めてきました。

今年度は、若手から中堅社員のエンゲージメント向上に効果の高い階層別教育を継続するとともに、リーダー・管理職向けプログラムの一部内容を見直し、変化する役割や期待に対応した教育体系へとアップデートしました。

また、新社員を対象とした考え方教育では、5回目となる「さわやか新社員研究会」を新たな会場で開催しました。環境を変えたことが、「生き生き社員研究会」再開を考えるきっかけとなり、2026年度実施に向けて約半年間かけて準備を進めました。

新社員「生き生き社員研究会」再開に向けた活動

新社員「生き生き社員研究会」は、1981年度に導入して以来、歩行ラリーを教材とした体験型の研究会として長年にわたり継続開催してきました。コロナ禍を機に中断しましたが、その間は代替プログラムとして、モーター組み立てゲームを取り入れた「さわやか新社員研究会」を実施してきました。

2025年度は、コロナ禍に入社したメンバーもスタッフに迎え、これまでのやり方にとらわれることなく、新しい形式での「生き生き社員研究会」再開に向けた準備・検討を行いました。

若手・中堅社員の成長を支える階層別教育

入社1～3年目向けのフォローアップ研究会では、同期が一堂に会する形式を継続しています。日常業務から一歩離れ、自身の成長や課題と向き合う時間を設けることで、これまでの経験を振り返り、今後の成長につなげる機会となりました。また、1年ぶりに再会した同期同士で近況や悩みを共有することで、相互に刺激を受け、さらなる活躍に向けた前向きな意識醸成にもつながっています。

入社6年目を対象とした「中堅社員の仕事と役割研究会」では、自身の立ち位置や役割期待を改めて整理し、同期との意見交換を通じて中核メンバーとして求められる行動を明確化しました。各自が設定したアクションプランを実践することで、主体的に組織へ貢献する意識の醸成を図っています。

部門別教育による専門スキルの強化

業務に必要な専門知識やスキルについては、各部門が企画・運営する部門別教育を通じて強化しています。営業部門では、若手営業社員を対象に商談力向上を目的とした「対人対応力強化研修」や「商談コミュニケーション強化研究会」を実施するとともに、営業リーダー向けにプレイングマネージャー研修を新たに企画・実施しました。

技術部門では、新社員向け技術実習のカリキュラムを見直し、製品知識に加え、技術系システム、収支・原価、VE、知的財産、製品法規制など、業務に直結する基礎教育を拡充しました。また、若手エンジニアには外部教育機関によるeラーニングを活用し、継続的な知識習得を促しています。

生産部門では、「造り方・流し方の改善」をテーマに、問題発見力と課題遂行力の育成を目的とした「モノづくり研究会」を継続開催しています。最新のモノづくりの考え方を取り入れながら、実践的な学びの場として内容のブラッシュアップを重ねています。



さわやか新社員研究会



中堅社員の仕事と役割研究会

教育体系

	考え方教育	階層別教育	部門別教育	キャリアデザインセミナー	
	オリエンタルモーターのビジネススタイルや風土を継承する	階層（年代）ごとに求められる職場での役割を研究する	各部門（営業・技術・生産）の業務品質アップを目指す	自身のキャリアについて主体的に考える	
管理職	OMI※ 新任部長研究会	部長研究会 課長マネジメント研究会		キャリアデザインセミナー（管理職）	自己啓発支援
	OMI 新任課長研究会	労務管理・目標チャレンジ研究会		キャリアデザインセミナー（30歳、45歳）	
中堅社員		リーダー研究会 中堅社員の仕事と役割研究会	営業 スキルアップ研究会他 技術 若手技術者勉強会他 生産 モノづくり研究会他		
若手社員	キャリア入社フォローアップ研究会	3年目 フォローアップ研究会			
	わくわく社員研究会	2年目 フォローアップ研究会			
	さわやか新社員研究会 生き生き社員研究会	新社員 フォローアップ研究会	部門別基礎教育		

※OMI=Oriental Motor Institute

生産部門 モノづくり研究会



営業部門 ステッピングモーター研究会



地域社会とともに

オリエンタルモーターは、地域社会の一員として、より豊かな社会の実現に向けて多角的な活動を展開しています。

次世代育成

モノづくりの楽しさを伝える「出前実験教室」

鶴岡中央・西事業所では、2016年から若手社員が講師とTA（ティーチングアシスタント）を務め、地元の中学2年生にモーターの原理や社会での活用事例に加え、当社の事業についても伝える、ブラシレスモーターを使った理科の出前実験教室を開催しています。2025年度は12月と1月に2校の約200名に対し授業を行いました。2025年度は、相馬事業所や高松香西・国分寺事業所でも同様に、地元の中学2年生に対し、ステッピングモーターを使った理科の出前実験教室を開催しました。相馬では1月に3校約280名、高松では2月に1校約100名に授業を行いました。授業内容は、各事業所で若手社員が「わくわく社員研究会」という研究会を通し、約3カ月かけ中学生にわくわくと興味を持ってもらえるよう準備しています。



出前実験教室(鶴岡)



「つくばチャレンジ2025」への協賛

つくばチャレンジは、つくば市内の遊歩道など、一般の人がいる日常の市街地で大学や企業が制作した移動ロボットが自律走行を行い、さまざまな課題に挑戦する技術チャレンジです。研究者や地域が協力して行う、先端技術への挑戦と公開実験の場として、2007年より開催されています。当社は毎年協賛しており、2022年からは技術者チームも自社製品を使用した自律移動ロボットで参加し、実環境走行で得られたデータを新製品開発や製品改善に役立てています。



「MOTION MIRAI PARK」でマイクロマウス走行を実施

次世代育成をテーマとした企業PRの一環として、高校生や大学生に参画いただき、当社製品を搭載したマイクロマウスによる走行パフォーマンスを行うミニ大会を実施しました。

▶「MOTION MIRAI PARK」詳細は P6-7 へ

出前実験教室(高松)



つくばチャレンジ



鶴岡中央工業団地クリーン作戦

大学での講義実績

- ・筑波大学理工学群「モーターに関する講義」
- ・名古屋大学工学部「エネルギー理工学設計および製作」
- ・法政大学理工学部「機械プラクティス」
- ・麗澤大学工学部「アクチュエータ活用事例」



学生の事業所見学

- ・将来の地域社会を支える子どもたちへの支援として小中高生を対象とした事業所見学の実施
- ・千葉工業大学 産官学連携協議会の活動として事業所見学会を開催



環境保全

より暮らしやすい地域を目指し、地域の清掃活動に参加しています。

- ・原釜尾浜海水浴場 クリーンアップ作戦(福島県相馬市)
- ・「富士山環境美化クリーン作戦2025」
- ・環境美化デー(茨城県土浦市)
- ・鶴岡中央工業団地クリーン作戦(山形県鶴岡市)
- ・香西地区 河川・水路一斉清掃(香川県高松市)
- ・「小さな親切」の会2025年度鶴岡クリーン大作戦(山形県鶴岡市)
- ・たいとうクリーンアップデー(東京都台東区)



コーポレートデータ

非財務ハイライト

女性活躍推進行動計画結果

計画期間	2025年4月1日～2028年3月31日までの3年間
行動計画目標	① S3主任(新人事制度) に占める女性の割合を 17 %にする (2025年 4月時点 15%) ②有給休暇取得率 65 %以上を継続する
取り組み内容	● 部下育成力向上のための取り組み実施 ● キャリア自律の実現を目的とした施策実施 ● 誰もが働きやすい職場環境づくり ● 健康経営の取り組みを通した生産性向上の実現
行動結果	S3 主任に占める女性の割合： 17.3 % (2026年4月現在)

仕事と育児の両立支援制度

2025年度育児休業取得率

内容	取得率
男性	100%
女性	100%

仕事と治療の両立支援制度

2025年度制度利用者数

内容	利用者数
入院・療養休暇	5人
治療休暇	8人
短時間勤務	0人



女性活躍推進法に基づく優良企業として、
えるばし（2段階）を取得



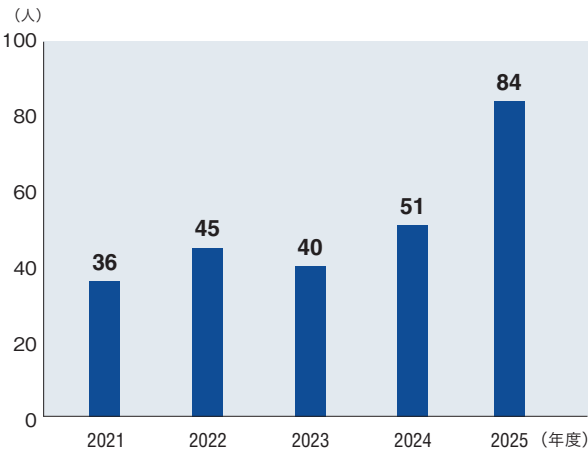
子育てサポート企業として
プラチナくるみん認定を取得



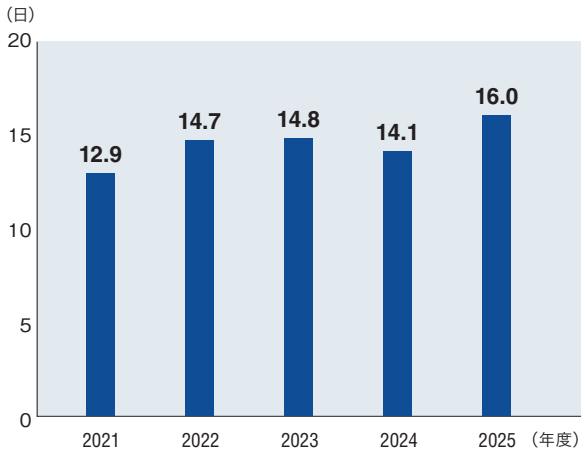
「がん対策推進企業アクション」の
推進パートナー企業に登録

仕事と介護の両立支援制度

介護休暇申請者



有給休暇取得日数



健康データ一覧

(年度)					
項目	性別	2022	2023	2024	2026目標
健康診断受診率	男女	100.0 %	100.0%	100.0%	現状水準維持
要精密検査・要治療	該当率	男女 30.6 %	33.8%	30.0%	-
	受診率	男女 79.4 %	71.8%	69.9%	80.0%以上
特定保健指導該当率 (40歳以上)	男女	14.8 %	14.3%	15.3%	-
特定保健指導受診率(完了率)	男女	28.5%	30.5%	27.3%	30.0%以上
健康診断データ※1	有所見率	血圧	男女 29.4 %	28.3%	27.7%
		血糖	男女 18.2 %	17.9%	18.3%
		脂質	男女 29.5 %	29.5%	30.0%
	肥満(高BMI) ※BMI 25以上	男 25.4 %	26.5%	27.0%	
	女 14.9 %	15.4%	16.4%		

※1 当社が定める以下有所見基準に基づく
血圧：収縮期圧130mm Hg 以上または拡張期圧85mm Hg 以上、150mg/dl 以上、HDL39mg/dl 以下またはLDL140mh/dl 以上
高BMI： BMI25.0 以上
血糖：空腹時血糖110mg/dl 以上またはHbA1c5.9% 以上
脂質：中性脂肪

(年度)					
項目	性別	2023	2024	2025	2026目標
ストレスチェック受検率	男女	100.0%	100.0%	99.96%	現状水準維持
高ストレス該当率※2	男女	10.3%	10.0%	10.5%	10.0%以下
ウオーキングキャンペーン参加率	男女	88.9%	88.9%	90.4%	現状水準維持
喫煙率	男女	18.5%	19.4%	20.1%	11.2%
生活習慣アンケート※1	朝食欠食率	男 23.1%	23.1%	25.5%	
		女 15.2%	14.6%	17.1%	
	運動習慣がある	男 36.6%	36.1%	39.0%	
		女 14.7%	16.7%	19.4%	
	睡眠で疲れが取れない	男女 32.8%	35.1%	35.7%	
		男 12.1%	13.1%	14.2%	
	女 12.5%	11.7%	12.5%		

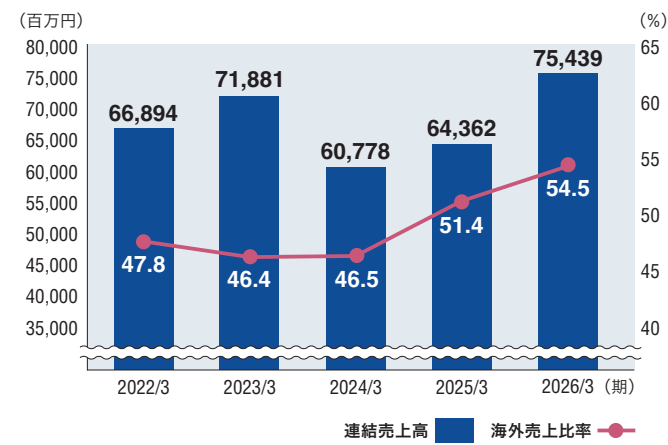
※1 厚生労働省 国民健康・栄養調査での算出方法に基づき、アンケートを実施しています。
※2 厚生労働省が示す基準における「高ストレス者」の割合は、全体の約 10 ～ 15%が目安とされています。

(年度)						
項目	説明	単位	2023	2024	2025	2028目標
疾病による休職者数(アブセンティーズム)※1	私傷病により休職した人数 (「休職」+「長期欠勤」の合計人数)	人	9人	25人	21人	-
パフォーマンス発揮度(プレゼンティーズム)※2	東大1項目版 (SPQ) で測定	%	81.8%	82.0%	81.8%	85.0%以上
仕事いきいき度(ワーク・エンゲージメント)※ 2、3	新職業性ストレス簡易調査票 80問から求めた総合健康度指数	偏差値	50.6	50.6	51.0	52.0以上

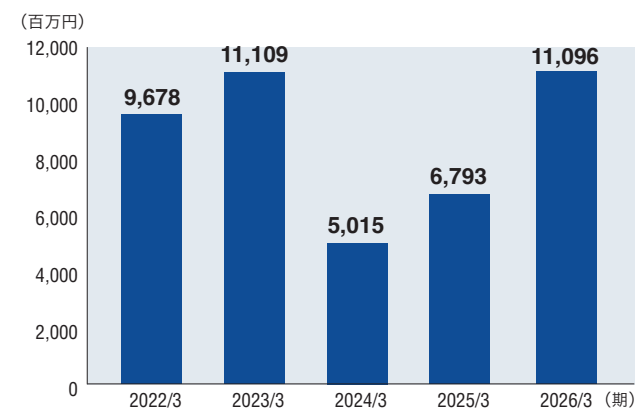
※1 1カ月以上連続した長期欠勤・休職者数 ※2 国内グループ会社含む ※3 ワーク・エンゲージメントとストレスの複合的な視点から求めた指数

財務ハイライト

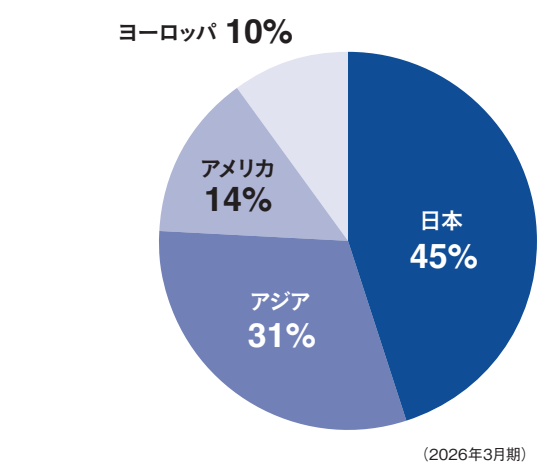
連結売上高・海外売上比率



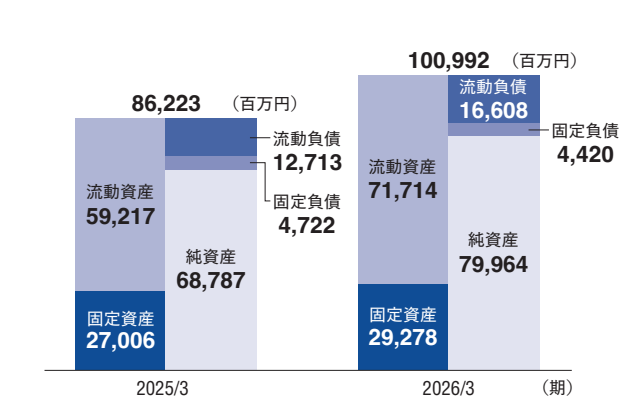
連結営業利益



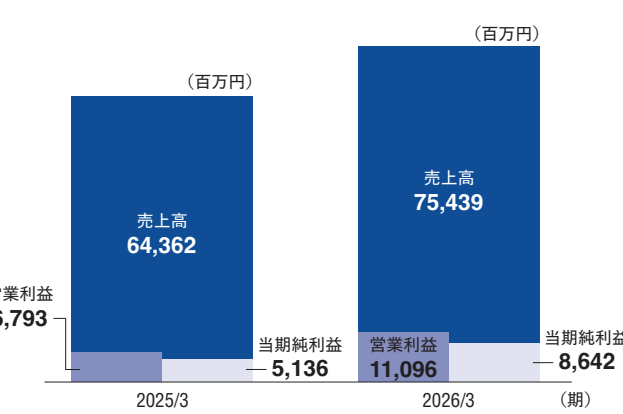
地域別連結売上構成比



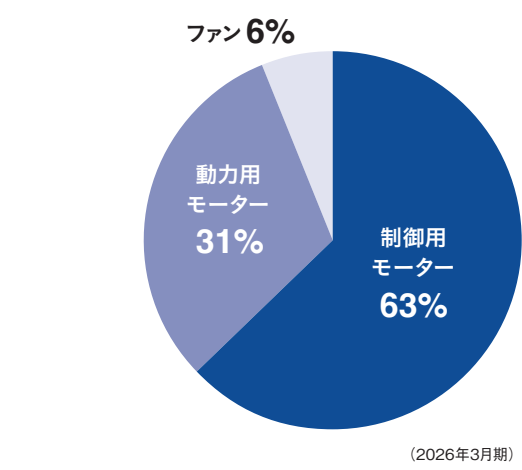
連結貸借対照表の概要



連結損益計算書の概要



事業別連結売上構成比



会社概要

会 社 名	オリエンタルモーター株式会社	資 本 金	41億円
英 文 表 記	ORIENTAL MOTOR CO., LTD.	売 上 高	連結 754億円(2026年3月期)
本 社	東京都台東区東上野 4-8-1	従 業 員 数	3,035人(2026年3月時点)
代 表 者	代表取締役執行役員社長 川人 英二	事 業 内 容	精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売
創 業	1885年	取 引 銀 行	千葉銀行 三井住友銀行 三菱 UFJ 銀行 常陽銀行 百十四銀行 荘内銀行 みずほ銀行
設 立	1950年		

拠点一覧

● 事業所

鶴岡中央事業所
鶴岡西事業所
相馬事業所
つくば事業所
土浦事業所
柏事業所
甲府事業所
高松香西事業所
高松国分寺事業所

● 営業所

東京支社
仙台支店
水戸営業所
北関東支店
南関東支店
諏訪営業所
立川営業所
名古屋支社
豊田営業所
静岡営業所
金沢営業所
大阪支社
京都支店
滋賀営業所
兵庫営業所
広島営業所
九州支店
熊本営業所

● グループ会社

オリムベクスタ株式会社 第1営業部(東日本) 第2営業部(中部/西日本) 能代オリエンタルモーター株式会社	庄内オリエンタルモーターテック株式会社 酒田工場 酒田第2工場 オリエンタルモーターテック株式会社 相馬テックカンパニー オリエンタルモータービジネス株式会社
● U.S.A.・カナダ ORIENTAL MOTOR U.S.A. CORP. 本社・ロサンゼルス / サンノゼ / シカゴ / トロント / ボストン	● 台湾 TAIWAN ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 本社・台北 / 台中 / 高雄
● ドイツ ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH 本社・デュッセルドルフ / ミュンヘン / ハンブルク / シュトゥットガルト / フランクフルト / ニュルンベルク	● シンガポール ORIENTAL MOTOR ASIA PACIFIC PTE. LTD. 本社・シンガポール
● イギリス ORIENTAL MOTOR (UK) LTD. 本社・バーミンガム	● マレーシア ORIENTAL MOTOR (MALAYSIA) SDN. BHD. 本社・クアラルンプール / ペナン
● イタリア ORIENTAL MOTOR ITALIA s.r.l. 本社・ミラノ / ボローニャ / ヴェローナ	● タイ ORIENTAL MOTOR (THAILAND) CO., LTD. 本社・バンコク / アユタヤ / チョンブリ
● スペイン ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH SPAIN BRANCH マドリード	● インド ORIENTAL MOTOR (INDIA) PVT. LTD. 本社・バンガロール / アーメダバード
● 中国 SHANGHAI ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 本社・上海 / 北京 / 大連 / 蘇州 / 杭州 / 広州 / 深圳 / 東莞 / 武漢 / 廈門 GUANGZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD. SUZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.	● 韓国 INA ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 本社・インチョン (仁川) / ソウル / スウォン (水原) / チョナン (天安) / テジョン (大田) / テグ (大邱) / クァンジュ (光州) / プサン (釜山)

企業広告リニューアル

2026年1月、当社は企業広告をリニューアルしました。本リニューアルは、現在のオリエンタルモーターの姿と、前進を続ける企業姿勢をどのように伝えるかを改めて考え、表現を見直したものです。なお、本広告のビジュアル制作は、前作に引き続きイラストレーターのイリヤ・クブシノブ氏が担当しています。



